

ロータリークラブ 会長 殿

// 幹事 殿

// 国際奉仕委員長 殿

// 米山奨学委員長 殿

// 保 存 用

財団法人ロータリー米山記念奨学会

1996(平成8)年度 事業報告書

1. 1996(平成8)年度事業報告
2. 1996(平成8)年度収支決算報告書、貸借対照表、財産目録および剰余金処分
3. 1997(平成9)年度事業計画
4. 1997(平成9)年度収支予算
5. 1997(平成9)年度評議員
6. 1997(平成9)年度理事および監事
7. 参考資料
 - クラブ米山奨学金制度(CY)
 - 地区米山奨学金制度(DisY)
 - 特別米山奨学金制度(SY-1)
 - 特別米山奨学金制度(SY-OB)
 - 特別米山奨学金制度(SY-J)
 - 米山カレンダー
 - 理事の役割
 - 地区米山奨学委員長の役割
 - 地区米山奨学生活動費、選考試験補助費および地区委員長事務補助費について
 - 送金カレンダー
 - 寄付金について
 - 表彰制度
 - 寄付に関する事項
 - 1997年度専門委員
 - 1998学年度米山奨学生募集要項(大学院・学部用)
 - 1998学年度地区米山奨学生募集要項

1997年8月

1996（平成8）年度 事業報告

自1996年7月1日～至1997年6月30日

1. 奨学生数

奨学金の種類	1996年7月～1997年3月 (1996学年度)	1997年4月～1997年6月 (1997学年度)
Y奨学生		
学部生	246	239
大学院生	462 (内5名は10月からCY)	471
CY奨学生	34	31
DisY奨学生		
DisY-A	2	1
DisY-B	233	235
SY奨学生		
SY-1	15	15
SY-OB	5	3
SY-J	2	1
計	999	996

注：ロータリー年度（7月から1年間）と学年度（4月から1年間）は異なる。

1997学年度奨学生数は、7月以降 SY-OB、SY-J奨学生および現在休学中で7月復学予定の者を含み1000名を予定したが、新規採用者に辞退がでたため実際は996名。

2. 奨学金

学部生（YU）	}	月額12万円
地区米山奨学生（DisY-A）		
特別米山奨学生（SY-1）		
大学院生（YMD）	}	月額15万円
クラブ米山奨学生（CY）		
地区米山奨学生（DisY-B）		
特別米山奨学生（SY-OB）	}	月額22万円
特別米山奨学生（SY-J）	}	月額25万円

3. Y奨学金制度

Y U奨学金とY M D奨学金の2種類で、ロータリー・クラブの所在する国から来日し、日本の大学に在籍する者を対象とする奨学金。

(1) Y U奨学金は、4月より大学

学部3・4年目

医・歯・獣医学部5・6年目の者を対象。

ただし、国籍による制限がある。

(2) Y M D奨学金は、4月より大学院

修士課程1・2年目

博士課程2・3年目

医・歯・獣医学系博士課程3・4年目の者を対象。

(1)、(2)とも奨学期間は2カ年以内。

4. クラブ米山奨学金制度（C Y奨学金）

現在Y M D奨学金およびDis Y - B奨学金を受給中の者で、奨学期間終了後1年以内で博士号取得見込みの者を対象とする奨学金。

ただし奨学金の支給は、C Y奨学期間を含み、通算3年を越えることはない。

5. 地区米山奨学金制度（Dis Y奨学金）

(1) Dis Y - A奨学金

ロータリー・クラブ所在国から来日し、短期大学、高等専門学校ならびに同専攻科、専修学校専門課程等に在籍する者を対象とする奨学金。

毎年各地区1名以内で、地区の割当数内で採用。

(2) Dis Y - B奨学金

以前にロータリー・クラブが存在していた国から来日し、4月より大学院の次の課程・学年に在籍する者を対象とする奨学金。

修士課程1・2年目

博士課程2・3年目

医・歯・獣医学系博士課程3・4年目

割当数は、各地区の当該年度割当数の15%以内とし、小数点以下は切り上げ可。

なお、Dis Y - B継続者およびC Yは、この15%の枠外。

各地区割当数の中で採用。

(1)、(2)とも奨学期間は2カ年以内。

6. 特別米山奨学金制度（S Y奨学金）

(1) S Y - 1奨学金

ロータリー・クラブのある発展途上国（以前にロータリー・クラブが存在していた発展途上国を含む）から来日する短期研修生を対象とする奨学金。

常務理事会および理事会において、受入団体と各団体への割当人数を定め、常務理事会においてその採用を決定。

奨学期間 1年以内

採用人数 15人以内

受入団体 アジア学院とPHD協会

(2) SY-OB奨学金

日本の大学において博士号取得済の元米山奨学生（帰国後5年以上経過し、50才未満の者）で、日本国内における研修プログラム、指導者、受入団体および研究室等がすでに決まっており、短期間の研修後帰国し、母国の発展に寄与する者を対象とする奨学金。

奨学期間 2カ月以上6カ月以内

採用人数 10人以内

第4期実施期間 1996年7月から1999年6月までの3年間

(3) SY-J奨学金

1996年度は2580、2700地区で試行

外国の大学、研究機関において日本研究に従事している常勤の上級研究者で、日本に関する研究活動を行おうとする者を招へいする制度。わが国の大学等学術研究機関において、受入研究者と共に研究に従事することにより、外国人研究者の研究の進展を援助するとともに、世話ロータリー・クラブと接触することによってロータリーの理想とする国際理解と親善に寄与することを目的とする。

招へい期間 6月から12カ月

第2期試行期間 1996年7月から1999年6月までの3年間

7. 台湾・韓国の学友会が推薦する申込者の採用

当奨学金申込者のなかから、毎年大学および課程・学年を指定し、台湾・韓国の学友会に各3名の推薦を依頼する。

両国の学友会は推薦を決定するに当たり、この件についての責任ロータリアンとともに選考にあたる。

当会にて書類選考を行うが、基本的に先方の推薦を重視する。

学 年 4月より大学院

博士課程2・3年目

医・歯・獣医学系博士課程3・4年目の者を対象。

試行期間 1996学年度より3年間試行

8. 選考事務の地区への委託

以下の順序で地区と連絡を取り、選考事務を委託した。

- (1) 米山奨学会事務局は、受付けた申込書を地区別に仕分けし、それぞれの地区ガバナー事務所へ送付。
- (2) 米山奨学会は、各地区ガバナー事務所に対し、選考事務委託に伴う諸経費（金額は常務理事会で決定）を支払う。
- (3) ガバナーより選考委員が委嘱される。
- (4) 各地区ガバナー事務所において申込書をコピーし、選考委員に配布。

- (5) 第一次試験（書類審査、応募者多数の場合筆記試験）の実施。
- (6) 第一次試験結果を米山奨学会事務局へ通知。無資格者およびその推薦ロータリアンへ無資格通知発送。第一次試験不合格者およびその推薦ロータリアンへ不合格通知発送。第一次試験合格者へ面接試験通知発送。
- (7) 面接試験の実施。
- (8) 合格内定者および補欠を米山奨学会事務局へ通知。
- (9) 米山奨学会事務局は合格内定者の資格を確認し、もし不適格者があれば、補欠者を繰上げ合格内定者に加えて、常務理事会へ報告。
- (10) 常務理事会で合格者を決定。
- (11) 米山奨学会事務局は合格者およびその推薦ロータリアンへ合格通知を発送。

9. 専門委員会・特別委員会

財務・学務・広報・学友の4部門の委員会を開き、各委員会は各々の担当事項につき、専門的に研究討議して業務遂行の方策を定め、常務理事会に提案した。

特別委員会として「情報システム改善委員会」を開き、コンピュータシステムおよびインターネットにホームページを開設する件につき検討した。

10. 米山奨学生学友会

現在日本には下表のとおり14の米山奨学生学友会があり、各々年2回の会合をもち、徐々に親睦を深めている。

学友会	発 足	所 属 者
2530	1986年11月	2530地区(福島県)在住学友
2550	北関東として 1986年11月発足	2550地区(栃木県)在住学友
2820	1994年度より 分かれて活動	2820地区(茨城県)在住学友
2560	1996年6月	2560地区(新潟県・群馬県)在住学友
2570	埼玉・東京・ 神奈川・千葉の 7地区合同で 1985年11月発足 1993年度より 分かれて活動	2570地区(埼玉県)で世話し、関東に在住する学友
2770		2770地区(埼玉県)で世話し、関東に在住する学友
東京		東京(2580・2750地区)で世話し、関東に在住する学友
		関東以外で世話し、神奈川・千葉を除く関東に在住する学友
2590		2590地区(神奈川県)で世話し、関東に在住する学友
		関東以外で世話し、神奈川に在住する学友
2780		2780地区(神奈川県)で世話し、関東に在住する学友
2790		2790地区(千葉県)で世話し、関東に在住する学友
		関東以外で世話し、千葉に在住する学友
2760	1997年6月	2760地区(愛知県)に在住する学友

学友会	発 足	所 属 者
関 西	京阪神にある4地区(2650・2660・2640・2680)合同で、1986年5月発足	2650・2660・2680地区(福井県・滋賀県・京都府・奈良県・大阪府・兵庫県)で世話し、関西に在住する学友 関西以外で世話し、2650・2660・2680地区に在住する学友
2640	1996年6月 2640地区は独立	2640地区(大阪府・和歌山県)で世話し、関西に在住する学友 関西以外で世話し、2640地区に在住する学友
西 日 本	1988年7月発足	2670・2690・2710・2700・2740・2720・2730地区 (徳島県・香川県・愛媛県・高知県・鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県・福岡県・佐賀県・長崎県・大分県・熊本県・宮崎県・鹿児島県) に在住する学友

日本以外では、台湾・韓国の2カ国に学友会が組織されている。台湾の扶輪米山會は1971年8月発足。韓国の韓国米山奨学生学友会は1979年9月発足。

11. 「よねやまだより」

年2回「よねやまだより」を発行し、日本の全ロータリアン・指導教官・奨学生および在日(一部帰国)学友に配布して、当会事業への理解を深めた。

12. 寄付金収入額

普通寄付金	512百万円	(前年度比 2.75%増)
特別寄付金	1,570百万円	(前年度比 0.59%増)
合 計	2,082百万円	(前年度比 1.12%増)

13. 表彰に関する事項

(1) 1千万円～8千万円達成クラブ(普通寄付金および特別寄付金合計額)

8千万円達成クラブ 3クラブ(内本年度増1クラブ)

東京江北ロータリークラブ(1996年度表彰済)
(創立1960年3月17日 会員数:80名)

京都ロータリークラブ (1996年度表彰済)
(創立1925年10月7日 会員数:252名)

京都南ロータリークラブ
(創立1954年3月11日 会員数:214名)

7千万円達成クラブ 3クラブ (内本年度増1クラブ)

京都西ロータリークラブ (1996年度表彰済)
(創立1958年2月3日 会員数: 144名)

奈良ロータリークラブ (1996年度表彰済)
(創立1952年3月27日 会員数: 177名)

岸和田ロータリークラブ
(創立1954年5月19日 会員数: 112名)

6千万円達成クラブ 10クラブ (内本年度増4クラブ)

5千万円達成クラブ 9クラブ (内本年度増5クラブ)

4千万円達成クラブ 19クラブ (内本年度増6クラブ)

3千万円達成クラブ 77クラブ (内本年度増26クラブ)

2千万円達成クラブ 247クラブ (内本年度増44クラブ)

1千万円達成クラブ 571クラブ (内本年度増79クラブ)

(2) 米山功労者 延34, 716名 (内本年度増2, 941名)

(3) 米山功労クラブ 延16, 761件 (内本年度増1, 526件)

(4) 米山ファンドフェロー 2, 429名

(5) 米山功労法人 延1, 397件 (内本年度増161件)

(6) 米山特別功労法人 延311件 (内本年度増29件)

次の諸表を添付する。

(1) 地区別奨学生数一覧表	7頁	(6) 学校別一覧表	12～13頁
(2) 課程別一覧表	8頁	(7) 世話クラブおよび 配属奨学生数一覧表	14～34頁
(3) 専攻分野別一覧表	9頁	(8) 地区別米山奨学委員会一覧表	35～39頁
(4) 国別一覧表	10頁		
(5) 米山奨学生数の推移	11頁		

(1) 地区別奨学生数一覧表
(1997学年度)

地区	Y奨学生		Dist-A		Dist-B		小計	CY奨学生		SY奨学生			合計
	新規	継続	新規	継続	新規	継続		Y	Dist-B	SY-1	SY-0B	SY-J	
2500	0	1			2	1	4						4
2510	10	8			6	1	25						25
2520	0	1			4	0	5						5
2810	18	5			5	2	30						30
2530	8	5			2	1	16						16
2800	5	3			2	1	11		1				12
2540	3	2			2	1	8						8
2830	2	1			1	3	7						7
2550	9	8			4	2	23			12			35
2820	24	12			9	5	50	1			1		52
2560	18	6			5	0	29						29
2570	19	4			4	1	28						28
2770	23	9			6	1	39	1	1				41
2580	29	21			4	1	55						55
2750	27	14			3	1	45	2			2		49
2590	19	14			6	2	41						41
2780	14	6			5	2	27	2	1				30
2790	23	10			5	1	39	1	1				41
2600	14	7			5	2	28						28
2760	13	14			9	5	41	1					42
2610	13	5			5	3	26						26
2620	9	9			6	2	26	1					27
2630	6	8	1		5	3	23						23
2650	27	13			10	3	53	4	1			1	59
2640	15	10			5	3	33	2	1				36
2660	27	11			8	4	50	3					53
2680	17	3			4	2	26	1		3			30
2670	5	8			5	2	20						20
2690	9	6			5	4	24	2					26
2710	12	9			6	4	31	1					32
2700	16	8			6	3	33	2					35
2740	11	6			4	1	22						22
2720	9	3			3	2	17						17
2730	2	4			3	2	11		1				12
計	456	254	1	0	164	71	946	24	7	15	3	1	996
	710		1		235			31					

(1997年度)

- 8 -

(3) 専攻分野別一覧表

(1997学年度)

		YMD		Y	U	C	Y	DisY-A	DisY-B		SY-1	SY-0B	SY-J	小計	合計
		大学院 博士課程	大学院 修士課程	学部 課程	クラブ 米山 奨学生	地区 米山 奨学生 A	地区米山奨学生 B		博士	修士	特別 米山 奨学生 (1)	特別米 山奨学 生(0B 部門)	特別 米山 奨学生 (J)		
文科系	人文	42	28	32	9				4	11	3			129	470
	教育	12	32	19					2	21		1		87	
	社会	10	8	16					2	1			1	38	
	法学	6	5	5					1	2				19	
	経済	12	27	76	2					23				140	
	国際	6	1	12	1				1	1				22	
	地域	1	6							1				8	
	芸術	4	10	11	1				1					27	
理科系	理学	24	10	1	4				9	9				57	420
	工学	98	54	51	6				37	33		2		281	
	農学	31	7	6	4				14	8	12			82	
医学系	医学	20	2	6	3				46					77	87
	歯学	3							2					5	
	薬学	2							3					5	
	保健学														
生活科学			3	2	1	1			1	1				9	9
情報学		3	3	2						1				9	9
商船学			1											1	1
計		274	197						123	112				996	
		471		239	31	1			235		15	3	1		

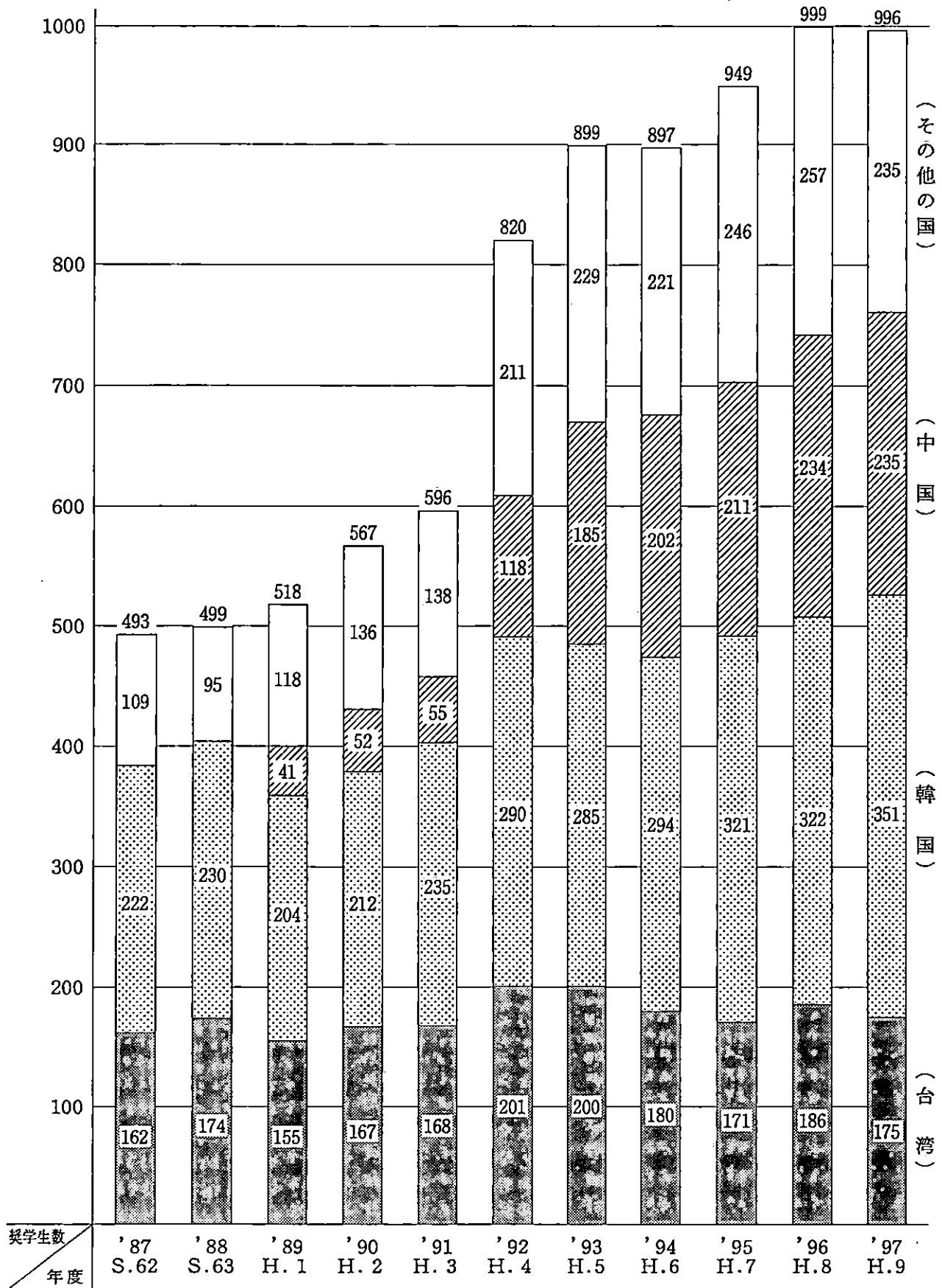
(4) 国 別 一 覧 表

(1997学年度)

国・地域名		1997 学年度	過 去 実 数	累 計 通 算	国・地域名		1997 学年度	過 去 実 数	累 計 通 算
ア	アフガニスタン		12	19		チュニジア	1	2	2
	インド	6	70	107	ア	ナイジェリア		5	7
	インドネシア	29	149	250	フ	マダガスカル		2	4
	カンボジア	3	4	5	リ	マリ		1	2
	シンガポール	2	19	32	カ	南アフリカ共和国		1	1
	スリランカ	21	96	170		計	9	79	118
	タイ	11	111	181		オーストラリア	1	9	18
	大韓民国(韓国)	351	2,177	4,020	オ	ソロモン諸島		1	1
	チベット		1	3	セ	ニューカドニア	1	1	1
	中華人民共和国(中国)	235	849	1,333	ア	ニュージーランド		6	12
ジ	中華民国(台湾)	175	2,404	4,319	ニ	バプアニューギニア	3	9	9
	ネパール	6	40	61	ア	フィジー	1	2	3
	バキスタン		12	21		計	6	28	44
	バングラデシュ	16	108	173		アメリカ合衆国	5	48	81
	フィリピン	8	55	86	北 中 南 米	アルゼンチン		11	18
	ベトナム	2	198	381		エルサルバドル		2	2
	ポルトガル(マカオ)	1	23	40		カナダ		4	7
	香港	9	110	198		グアテマラ		1	1
	マレーシア	72	567	955		コロンビア		1	1
	ミャンマー	3	17	28		チリ		3	5
モンゴル	2	2	3	ブラジル		6	53	88	
ラオス		2	4	ベネズエラ			5	9	
計	952	7,026	12,389			ペルー		13	23
中 近 東	イスラエル	1	8	11		ボリビア	1	3	4
	イラク		1	1	メキシコ	2	14	21	
	イラン	2	14	31	計	14	158	260	
	トルコ		4	7		イギリス	3	8	10
	ヨルダン	1	1	1		イタリア	1	10	14
	計	4	28	51		ウクライナ	1	1	2
ア フ リ カ	ウガンダ	1	4	4	ヨ ー ロ ッ パ	オーストリア		3	4
	ジブチ共和国	3	18	33		オランダ		1	2
	エチオピア		6	9		旧ユーゴスラビア		1	2
	ガーナ		8	13		スイス		3	4
	カメルーン		1	1		スペイン		2	3
	ギニアビッサウ		1	1		チェコ	1	1	2
	ケニア	1	12	18		ドイツ	1	14	21
	コートジボアール		1	2		フィンランド	1	1	1
	コンゴ		1	2		フランス		7	12
	ザイール	1	3	4		ブルガリア		1	2
カ	ザンビア		3	3	ベルギー	1	3	3	
	シエラレオネ	1	3	4	ポーランド	1	2	3	
	スーダン	1	2	2	ロシア	1	2	4	
	セネガル		1	2	計	11	60	89	
	タンザニア		4	4	総 数	996	7,379	12,951	
						45カ国	81カ国		

(5) 米山奨学生数の推移

(1997学年度)



(6) 学 校 別 一 覧 表

(1997学年度)

大 学 名	人 数	大 学 名	人 数	大 学 名	人 数
北見工業大学	1	東邦音楽大学	2	関東学院大学	1
帯広畜産大学	2	東京国際大学	8	桐蔭学園横浜大学	1
北海道大学	23	文教大学	6	横浜国立大学	12
北海道工業大学	1	目白大学	2	横浜市立大学	2
北海道教育大学	1	日本工業大学	5	女子美術大学	1
岩手大学	9	埼玉大学	10	神奈川工科大学	2
宮城教育大学	2	沖縄大学	1	産能大学	1
東北大学	28	琉球大学	3	東海大学	12
福島大学	7	亜細亜大学	2	千葉大学	25
福島県立医科大学	2	大東文化大学	2	千葉工業大学	2
東日本国際大学	2	法政大学	1	城西国際大学	2
いわき明星大学	1	上智大学	2	麗澤大学	3
山形大学	11	明治大学	3	東京基督教大学	1
秋田大学	8	日本大学	9	和洋女子大学	1
青森公立大学	1	お茶の水女子大学	4	長野大学	1
八戸工業大学	1	専修大学	2	信州大学	27
弘前大学	2	芝浦工業大学	1	愛知学院大学	3
北里大学	1	拓殖大学	1	中京大学	1
アジア学院	12	東京大学	72	名城大学	2
足利工業大学	4	東京外国語大学	2	名古屋大学	25
白鷗大学	1	東京芸術大学	2	名古屋工業大学	2
作新学院大学	2	東京理科大学	1	名古屋市立大学	1
宇都宮大学	14	東洋大学	1	豊橋技術科学大学	9
茨城大学	7	早稲田大学	14	富山大学	11
流通経済大学	2	中央大学	7	富山医科薬科大学	2
筑波大学	43	電気通信大学	2	北陸大学	1
上越教育大学	1	一橋大学	2	北陸先端科学技術 大学院大学	1
長岡技術科学大学	12	慶應義塾大学	9	金沢大学	9
長岡造形大学	1	国学院大学	1	金沢美術工芸大学	2
新潟大学	8	聖心女子大学	1	山梨大学	4
群馬大学	5	東京学芸大学	3	山梨学院大学	3
上武大学	1	東京女子大学	1	浜松医科大学	2
高崎経済大学	1	東京経済大学	1	静岡大学	8
女子栄養大学	2	東京工業大学	21	静岡県立大学	7
城西大学	6	東京工科大学	1	静岡産業大学	1
明海大学	1	東京農工大学	5	中京短期大学	1
埼玉医科大学	1	東京都立大学	3	岐阜大学	12
駿河台大学	1	神奈川大学	2		

大 学 名	人 数	大 学 名	人 数	大 学 名	人 数
三重大大学	7	大阪外国語大学	1	東亜大学	1
鈴鹿国際大学	2	大阪工業大学	1	山口大学	8
四日市大学	1	大阪教育大学	1	福岡大学	4
福井大学	6	大阪市立大学	9	福岡教育大学	2
福井県立大学	2	兵庫教育大学	3	福岡歯科大学	1
成安造形大学	1	関西学院大学	1	久留米大学	2
滋賀大学	6	神戸大学	19	九州大学	19
同志社大学	2	神戸芸術工科大学	2	九州工業大学	2
京都大学	21	神戸商科大学	2	九州産業大学	1
京都工芸繊維大学	1	神戸YMCA学院専門学校	3	九州歯科大学	2
京都教育大学	1	流通科学大学	1	産業医科大学	1
立命館大学	3	香川大学	3	西南学院大学	1
総合研究大学院大学	1	香川医科大学	1	長崎大学	11
奈良女子大学	3	徳島大学	3	長崎総合科学大学	4
奈良教育大学	3	徳島文理大学	1	佐賀大学	6
奈良先端科学技術 大学院大学	3	愛媛大学	6	佐賀医科大学	1
		高知大学	5	熊本大学	7
帝塚山大学	3	吉備国際大学	3	熊本学園大学	1
天理大学	2	ノートルダム清心女子大学	1	九州東海大学	2
和歌山大学	5	岡山大学	12	別府大学	3
桃山学院大学	3	島根大学	6	日本文理大学	1
大阪府立大学	11	鳥取大学	4	大分大学	2
大阪芸術大学	5	エリザベト音楽大学	1	大分医科大学	1
大阪女子大学	2	広島大学	18	鹿児島大学	8
関西大学	1	広島電機大学	1	宮崎大学	2
近畿大学	3	広島県立大学	1	宮崎産業経営大学	2
大阪大学	48	広島修道大学	2	合 計	192校 996名

- * 岩手大学の4名は、帯広畜産大学に1名、山形大学に1名、弘前大学に2名配置
- * 東京農工大学の2名は、宇都宮大学に配置
- * 岐阜大学の1名は、静岡大学に配置
- * 兵庫教育大学の1名は、鳴門教育大学に配置
- * 愛媛大学の1名は、香川大学に配置
- * 鳥取大学の2名は、島根大学に配置
- * 鹿児島大学の2名は、宮崎大学に配置

(7) 世話クラブおよび配属奨学生数一覧表

地 区	世 話 ク ラ ブ	'97年度	'97年度迄の累計		地 区	世 話 ク ラ ブ	'97年度	'97年度迄の累計	
			人 数	総「人・年」				人 数	総「人・年」
2500	旭 川 東		1	2	2510	計	25	134	242
	旭 川 北		1	2	2520	盛 岡	1	12	19
	旭 川 南		2	3		盛 岡 中 央	1	1	1
	旭 川 西		1	2		盛 岡 東	1	2	2
	北 見		3	5		盛 岡 北	1	8	13
	北 見 東	1	2	4		盛 岡 南		3	6
	帯 広	1	5	9		盛 岡 西	1	7	12
	帯 広 東		1	2		計	5	33	53
	帯 広 北		1	2	2810	古 川		4	7
	帯 広 南	1	2	3		古 川 東	1	6	8
	帯 広 西	1	3	6		古 石 巻	1	3	6
	計	4	22	40		石 巻 東		1	2
2510	江 別		5	10		石 巻 南		1	2
	函 館	2	3	4		石 巻 西		1	2
	函 館 五 稜 郭	1	3	4		岩 出 山	1	3	4
	函 館 東		1	2		岩 沼	1	4	5
	函 館 北		1	2		角 田	1	1	1
	室 蘭		1	2		気 仙 沼		1	2
	小 樽		2	2		気 仙 沼 南	1	1	2
	札 幌	2	26	55		栗 駒	1	1	2
	札幌あけぼの	1	3	4		松 島	1	8	10
	札幌はまなす	1	1	1		中 新 田	1	2	3
	札 幌 東	1	6	11		鳴 子		1	1
	札 幌 北	2	14	28		名 取	1	3	5
	札 幌 幌 南	2	8	12		大 河 原	1	3	3
	札幌真駒内	1	7	12		利 府	1	4	6
	札 幌 南	3	17	25		佐 沼	1	3	5
	札幌モーニング	1	6	9		仙 台	1	45	99
	札 幌 西	2	10	20		仙 台 青 葉	1	4	5
	札 幌 西 北	2	7	14		仙 台 平 成	1	5	7
	札 幌 手 稲	3	9	18		仙 台 東	1	16	35
	新 札 幌	1	4	7		仙 台 泉		11	20

地 区	世 話 ク ラ ブ	'97年度	'97年度迄の累計		地 区	世 話 ク ラ ブ	'97年度	'97年度迄の累計	
			人 数	総「人・年」				人 数	総「人・年」
2810	仙 台 冠	1	2	2	2530	郡 山 南		2	2
	仙 台 北	1	25	53		本 宮	1	1	2
	仙 台 南	1	20	38		二 本 松	1	2	3
	仙 台 西	1	24	37		白 河	1	2	2
	七 ケ 浜	1	2	3		須 賀 川		1	1
	塩 釜	1	12	20		須 賀 川 南		1	2
	塩 釜 東	1	10	20		梁 川	1	1	2
	白 石	1	5	8		計	16	61	96
	白 石 北		1	1	2800	鶴 岡	1	5	10
	多 賀 北	1	8	13		鶴 岡 西		1	1
	大 和		1	1		山 形	1	2	2
	築 館	1	11	19		山 形 東	3	6	10
	若 柳	1	2	2		山 形 南		1	2
	涌 谷	1	3	5		山 形 西	1	4	6
	亘 理	1	2	3		米 沢	2	21	34
	計	30	260	467		米 沢 中 央	2	4	7
	だ て 西	1	1	1		米 沢 西	2	7	10
	福 島		7	14		計	12	51	82
2530	福 島 中 央		2	3	2540	秋 田	2	28	52
	福 島 東		6	10		秋 田 中 央	1	2	3
	福 島 北	1	4	11		秋 田 東	2	12	21
	福 島 南	1	3	4		秋 田 北	2	8	14
	福 島 西	1	7	11		秋 田 南	1	7	11
	保 原	1	2	2		秋 田 港		7	15
	飯 坂		2	3		計	8	64	116
	いわき常磐	1	1	1	2830	青 森 東		2	2
	いわき平	1	1	1		青 森 北 東		1	1
	いわき平中央	1	1	1		青森モーニング	1	1	2
	いわき内郷		2	3		五 所 川 原		1	2
	川 俣	1	2	3		五所川原中央	1	1	2
	郡 山		3	5		八 戸	1	2	3
	郡 山 安 積	1	2	3		弘 前	1	7	14
	郡 山 東	1	4	4		弘 前 東	1	3	5
	郡 山 北	1	1	2		弘 前 西	1	1	2

地 区	世 話 ク ラ ブ	'97年度	'97年度迄の累計		地 区	世 話 ク ラ ブ	'97年度	'97年度迄の累計	
			人 数	総「人・年」				人 数	総「人・年」
2830	十 和 田	1	1	1	2550	栃 木		2	3
	計	7	20	34		栃 木 西		1	1
2550	足 利	1	5	10		氏 家		4	5
	足 利 東	1	4	5		宇 都 宮	2	7	14
	足 利 西	1	3	4		宇 都 宮 東	1	6	8
	馬 頭 小 川		1	1		宇 都 宮 北	1	6	8
	今 市		1	2		宇 都 宮 南		6	9
	今 市 きぬ		1	2		宇 都 宮 90	2	6	8
	石 橋	1	1	1		宇 都 宮 西	1	11	17
	岩 舟		1	2		宇 都 宮 陽 北	1	1	2
	鹿 沼	2	5	8		宇 都 宮 陽 南	1	1	1
	鹿 沼 中 央		1	1		宇 都 宮 陽 東	1	6	8
	鹿 沼 東		1	1		矢 板		9	10
	黒 羽	4	19	19		矢 板 や し お	1	1	2
	黒 磯	4	19	19		計	35	243	321
	葛 生		1	2	2820	大 子	1	1	2
	益 子		1	2		日 立		8	14
	壬 生	1	3	6		日 立 中 央	1	2	2
	真 岡		4	7		日 立 北	1	4	6
	真 岡 西		1	2		日 立 港	1	6	11
	那 須		9	9		日 立 南	1	12	18
	日 光		1	2		常 陸 大 宮	2	2	3
	西 那 須 野	1	23	26		常 陸 太 田	1	4	4
	大 田 原		16	17		常 陸 山 方	1	1	2
	大 田 原 中 央		5	5		鉾 田	1	8	14
	小 山	1	11	18		石 岡	1	11	18
	小 山 東		1	2		石 岡 87	1	6	9
	小 山 北		2	3		潮 来	1	3	4
	小 山 南	1	5	7		岩 井	1	4	8
	佐 野		7	12		笠 間	1	11	18
	佐 野 東	1	9	13		鹿 島 臨 海	1	5	7
	塩 原 西 那 須	4	12	12		勝 田	1	11	15
	高 根 沢	1	2	4		北 茨 城	1	3	4
	田 沼		1	1		古 河	1	17	30

地 区	世 話 ク ラ ブ	'97年度	'97年度迄の累計		地 区	世 話 ク ラ ブ	'97年度	'97年度迄の累計	
			人 数	総「人・年」				人 数	総「人・年」
2820	古 河 東	1	7	11	2560	長 岡 東	3	9	16
	真 壁	1	9	17		長 岡 西	4	10	17
	水 戸	1	14	24		直 江 津		1	2
	水 戸 東	1	4	5		新 潟 鴻	1	23	38
	水 戸 南	1	9	15		新 潟 万 代	1	1	1
	水 戸 西	2	14	23		新 潟 中 央	1	2	3
	水 戸 さ く ら		2	3		新 潟 東	2	3	5
	水 海 道	2	12	21		新 潟 北	2	3	4
	守 谷	1	2	4		新 潟 南	1	3	4
	那 珂 湊	1	6	10		新 潟 西		2	3
	大 洗	1	6	9		小 千 谷		2	4
	竜 ケ 崎	1	13	20		高 田		5	8
	境	1	5	9		高 田 東	1	4	4
	関 城	1	2	4		雪 国 魚 沼		1	2
	下 館	1	11	18		藤 岡 北		1	1
	しもだて紫水	1	3	5		藤 岡 北 崎	1	3	5
	下 妻	1	10	18		伊 勢 崎 中 央	1	2	4
	高 萩	1	5	7		伊 勢 崎 生	1	17	31
	玉 造	1	2	4		桐 生 中 央		3	6
	友 部	1	4	6		桐 生 南		12	21
	取 手	1	9	18		桐 生 西	2	12	21
	東 海		2	5		前 橋 東		5	9
	土 浦	3	26	43		前 橋 北		1	2
	土 浦 中 央	1	4	6		前 橋 西		1	2
	土 浦 南	1	16	27		前 橋 田		3	5
	つくば学園	2	10	16		沼 田		1	4
	つくばシティ	2	3	5		太 田		1	2
	牛 久	1	9	16		渋 川		1	2
	結 城	1	10	19		高 崎		5	9
計		52	348	577		高 崎 東	1	5	9
2560	新 井		2	4		高 崎 北	1	4	6
	見 附	2	2	2		高 崎 南		6	12
	妙 高 高 原		1	2		高 崎 林		1	1
	長 岡	4	13	22					

地 区	世 話 ク ラ ブ	'97年度	'97年度迄の累計		地 区	世 話 ク ラ ブ	'97年度	'97年度迄の累計	
			人 数	総「人・年」				人 数	総「人・年」
2560	計	29	172	295		志 木 柳 瀬 川		1	1
	朝 霞		7	15		新 狭 山	2	8	11
	朝霞キャロット		2	2		新 所 沢		1	2
	秩 父		2	3		所 沢		4	7
	富 士 見	1	2	2	2570	所 沢 中 央		1	1
	深 谷		1	1		鶴 ケ 島		2	3
	深 谷 東		2	2		和 光	1	11	18
	吹 上		1	2		寄 居		1	2
	行 田		2	3		計	28	166	257
	行田さくら		2	2		上 尾		2	3
	飯 能	1	6	11		上 尾 東		1	2
	日 高	1	3	4		上 尾 北	1	2	3
	東 松 山	1	2	4		上 尾 西	1	2	3
	本 庄	2	6	11		蓮 田	1	2	5
	入 間	1	4	6		鳩 ケ 谷	2	7	11
	上 福 岡		2	4		鳩ケ谷武南	1	3	4
	川 越	1	15	23		岩 槻	2	6	9
2570	川 越 中 央	1	6	9		岩 槻 中 央	1	1	1
	川 越 東	1	5	6		岩 槻 東	1	2	4
	川 越 南	1	8	12		春 日 部		5	10
	川 越 西	1	8	12		春日部イブニング	1	1	1
	加 須		1	2	2770	春 日 部 西		1	2
	熊 谷	2	8	14		川 口	1	4	6
	熊 谷 東		1	2		川 口 東		2	4
	新 座	1	7	11		川 口 北 東	1	3	4
	新座こぶし	1	2	2		川 口 北	1	7	9
	小 川		1	1		川 口 南		1	2
	越 生 毛 呂	1	6	10		川口むさし野		1	1
	岡 部		3	4		川 口 西		4	8
	坂 戸	2	8	11		越 谷	1	10	17
	坂戸さつき	1	2	4		越 谷 東	1	4	7
	狭 山	1	2	2		越 谷 北	2	8	14
	狭 山 中 央	2	2	3		越 谷 南	1	5	7
	志 木	2	8	12		越 谷 中	1	4	5

地 区	世 話 ク ラ ブ	'97年度	'97年度迄の累計		地 区	世 話 ク ラ ブ	'97年度	'97年度迄の累計	
			人 数	総「人・年」				人 数	総「人・年」
2770	越 谷 西	1	3	4	2770	八潮イブニング	1	3	5
	鴻 巣		1	2		与 野		2	4
	久 喜		3	5		与 野 西		1	2
	三 郷 中 央		1	2		吉 川		2	4
	三 郷 中 央		2	3		吉川イブニング	1	1	1
	宮 代	2	4	5		計	41	245	398
	桶 川		7	12	2580	宜 野 湾		8	12
	大 宮 中 央	1	19	31		コ ザ		2	4
	大 宮 中 央	1	5	9		名 護		1	1
	大 宮 東		2	2		那 覇		6	10
	大 宮 北		3	5		那 覇 東	1	11	15
	大 宮 南	1	13	21		那 覇 南	1	5	8
	大 宮 南 西		3	4		那 覇 西	1	10	17
	大 宮 南 東		2	4		浦 添	1	6	10
	大 宮 西	1	6	8		東 京	1	103	210
	白 岡		2	3		東 京 足 立	1	10	18
	庄 和		2	3		東 京 秋 川	1	3	4
	草 加	1	3	7		東 京 荒 川	1	21	40
	草 加 中 央	1	2	3		東 京 浅 草	1	17	28
	草加イブニング	1	2	3		東京浅草中央	1	7	12
	草 加 南		3	4		東京あすか	1	7	12
	杉 戸		3	5		東 京 ベ イ	1	6	8
	杉 戸 中 央	1	1	1		東京江戸川	1	24	42
	戸 田		9	18		東 京 福 生	1	4	6
	戸 田 西	2	3	6		東 京 東	1	29	63
	浦 和 東	2	9	16		東京東江戸川	1	14	31
	浦 和 北 東	1	6	12		東京東久留米	1	7	10
	浦 和 北 東	1	3	3		東京東村山		4	6
	浦 和 北 南	2	13	21		東京東大和		2	4
	浦 和 南 中	1	2	3		東 京 本 郷	1	4	6
	浦 和 西		1	1		東 京 保 谷		7	12
	浦 和 西		2	2		東 京 池 袋	2	35	74
	八 潮		5	8		東京池袋西	1	13	24
			3	4		東 京 板 橋	2	18	34

地 区	世 話 ク ラ ブ	'97年度	'97年度迄の累計		地 区	世 話 ク ラ ブ	'97年度	'97年度迄の累計	
			人 数	総「人・年」				人 数	総「人・年」
2580	東京板橋セントラル	1	1	1	2580	計	55	806	1,474
	東 京 城 北	1	23	40	2750	東 京 昭 島		2	3
	東 京 城 東	1	13	27		東京昭島中央	1	3	6
	東 京 神 田	1	33	63		東 京 調 布		11	19
	東 京 葛 飾	1	16	29		東京調布むらさき		1	2
	東京葛飾東	2	19	31		東 京 中 央	1	5	7
	東京紀尾井町	1	2	3		東京田園調布		18	32
	東 京 北	1	39	73		東京田園調布緑		2	3
	東 京 清 瀬		2	3		東 京 荏 原	1	15	27
	東 京 小 平		8	12		東京荏原かめりあ		1	2
	東京小石川	1	20	39		東 京 恵 比 寿	1	1	1
	東 京 江 北	2	23	46		東 京 府 中		10	20
	東 京 麩 町	1	15	25		東 京 銀 座	1	27	60
	東 京 江 東	1	20	43		東京銀座新	1	2	4
	東 京 向 島	1	15	26		東京五反田	1	1	1
	東京武蔵村山		6	14		東京八王子	1	10	20
	東京武蔵野	2	15	27		東京八王子東		5	8
	東京武蔵野中央	1	10	12		東京八王子北	1	1	2
	東 京 中 野		10	19		東京八王子南		3	5
	東京練馬中央	1	1	1		東京八王子西		5	12
	東京練馬西	1	9	14		東 京 羽 田	1	8	11
	東京お茶の水	1	1	2		東 京 原 宿		6	8
	東 京 王 子	1	22	37		東 京 日 野	2	10	14
	東 京 青 梅		4	7		東 京 稲 城		4	10
	東 京 臨 海	1	2	3		東京井の頭		4	8
	東 京 西 北	1	25	43		東 京 神 宮	1	2	2
	東 京 新 宿	2	15	26		東京自由が丘	2	4	6
	東京新都心	1	7	12		東 京 城 南	1	5	8
	東 京 田 無	1	12	20		東 京 城 西	1	20	39
	東京田無けやき		3	4		東 京 蒲 田		5	10
	東京豊島東	1	10	15		東 京 京 浜		2	4
	東 京 上 野	1	10	18		東京小金井	1	13	26
	東京ワセダ	1	1	1		東京小金井さくら	1	2	3
	東 京 四 谷	1	10	17		東京国分寺		14	23

地 区	世 話 ク ラ ブ	'97年度	'97年度迄の累計		地 区	世 話 ク ラ ブ	'97年度	'97年度迄の累計	
			人 数	総「人・年」				人 数	総「人・年」
2750	東 京 駒 場	1	6	7	2750	東 京 杉 並		5	9
	東 京 狛 江	1	6	9		東 京 立 川		6	16
	東京狛江多摩川		2	4		東京立川こぶし		3	5
	東 京 港 南	1	13	21		東 京 多 摩		7	12
	東 京 国 立	1	22	34		東京多摩グリーン		1	2
	東京国立白うめ		2	2		東 京 飛 火 野		4	7
	東 京 町 田	1	7	15		東 京 築 地	1	12	26
	東 京 町 田 東	1	2	3		東 京 山 の 手	1	5	8
	東 京 町 田 中		2	3		計	49	611	1,147
	東京町田サルビア	1	3	4	2590	神 奈 川		9	16
	東京マリーソン	1	2	3		神 奈 川 東		4	7
	東 京 目 黒	3	29	55		川 崎	1	8	15
	東 京 南	1	28	72		川 崎 麻 生		1	1
	東京みなと	1	2	2		川 崎 中 央	1	3	4
	東 京 三 鷹	2	17	31		川 崎 大 師	1	6	9
	東京武蔵府中	1	7	8		川 崎 日 吉	1	4	7
	東京武蔵国分寺	1	2	5		川 崎 稲 生		2	5
	東 京 日 本 橋	1	22	49		川 崎 北	3	11	18
	東京日本橋東	1	13	20		川崎マリーソン	1	1	1
	東京日本橋西	1	3	4		川 崎 南		9	14
	東 京 西	1	30	69		川 崎 宮 前	2	6	8
	東 京 大 井	1	10	17		川 崎 中		5	10
	東 京 大 森	1	11	22		川 崎 中 原	1	4	10
	東 京 大 崎		5	8		川 崎 西	1	11	18
	東 京 成 城		10	15		川 崎 鷺 沼		6	9
	東京成城新		4	9		川 崎 幸		6	10
	東京西南	1	5	11		川 崎 高 津	1	4	9
	東京世田谷		22	40		川崎高津南	1	1	1
	東京世田谷南	1	13	24		川 崎 多 摩	1	5	11
	東 京 芝	1	13	22		川崎百合丘		3	5
	東 京 品 川		25	51		新 川 崎	1	1	1
	東 京 新 橋	1	3	7		新 横 浜		2	4
	東 京 新 南		3	6		横 浜	1	14	28
	東京シティ日本橋	1	2	4		横 浜 旭	2	7	14

地 区	世 話 ク ラ ブ	'97年度	'97年度迄の累計		地 区	世 話 ク ラ ブ	'97年度	'97年度迄の累計	
			人 数	総「人・年」				人 数	総「人・年」
2590	横 浜 あ ぞ み		2	4	2780	厚 木 中	1	3	5
	横 浜 田 園		7	14		綾 瀬		2	3
	横 浜 東	1	13	19		茅 ヶ 崎	1	8	19
	横 浜 日 吉	1	1	1		茅 ヶ 崎 中 央	1	1	2
	横 浜 保 土 ヶ 谷	3	11	19		茅 ヶ 崎 な ぎ さ	1	1	1
	横 浜 本 郷		4	7		茅 ヶ 崎 湘 南		4	6
	横 浜 磯 子		9	15		海 老 名	1	1	1
	横 浜 泉		1	1		藤 沢		6	10
	横 浜 鶴 峰	1	4	7		藤 沢 東		2	3
	横 浜 金 沢	1	10	15		藤 沢 北 西	1	3	5
	横 浜 金 沢 東	1	4	5		藤 沢 北	1	8	17
	横 浜 北		6	9		藤 沢 南		1	2
	横 浜 港 北		8	15		藤 沢 西		5	8
	横 浜 港 南	1	6	10		秦 野	1	12	21
	横 浜 港 南 台		3	4		秦 野 名 水	1	2	5
	横 浜 緑	3	15	24		秦 野 中	1	8	12
	横 浜 南	1	25	43		箱 根	1	1	1
	横 浜 MM 2 1	1	2	3		平 塚	1	11	18
	横 浜 中		7	11		平 塚 北	1	9	15
	横 浜 南 央		1	2		平 塚 南		3	6
	横 浜 南 陵	1	13	20		平 塚 西	1	4	6
	横 浜 西	1	10	17		平 塚 湘 南	1	2	2
	横 浜 瀬 谷	1	8	13		伊 勢 原	1	9	12
	横 浜 た ま	1	5	9		伊 勢 原 中 央	1	5	8
	横 浜 戸 塚		5	10		伊 勢 原 平 成	1	1	2
	横 浜 戸 塚 東		1	2		鎌 倉	1	7	12
	横 浜 戸 塚 西	1	3	3		鎌 倉 中 央		3	3
	横 浜 鶴 見 北	2	7	12		鎌 倉 北		2	4
	横 浜 鶴 見 西		8	13		鎌 倉 西		2	3
	横 浜 都 築	1	1	1		鎌 倉 大 船	1	5	7
	横 浜 山 手		1	1		三 浦		1	1
	計	41	334	564		二 宮		4	8
2780	足 柄	1	1	1		小 田 原	1	9	14
	厚 木	1	4	7		小 田 原 城 北		2	4

地 区	世 話 ク ラ ブ	'97年度	'97年度迄の累計		地 区	世 話 ク ラ ブ	'97年度	'97年度迄の累計	
			人 数	総「人・年」				人 数	総「人・年」
2780	小 田 原 北		4	6	2790	船 橋 東	1	4	6
	小 田 原 中		4	6		船 橋 北	1	3	5
	大 磯		2	2		船 橋 南	1	4	5
	相 模 原	1	5	8		船 橋 み な と	1	1	1
	相模原グリーン	1	1	2		船 橋 西	1	8	15
	相 模 原 東		1	1		富 津		4	7
	相 模 原 北	1	3	5		富 津 中 央		2	4
	相 模 原 南	1	3	6		市 原	1	5	7
	相 模 原 中		5	12		市 原 中 央	1	3	4
	相 模 原 西		2	3		市 川	1	7	13
	寒 川		3	5		市 川 東	1	6	8
	大 和		8	15		市 川 南		3	5
	大 和 田 園		2	3		市川シビック		1	2
	大 和 中		4	7		印 西	1	3	5
	横 須 賀		7	15		鎌 ケ 谷	1	1	2
	横 須 賀 北	1	10	17		柏	1	1	2
	横 須 賀 南		1	3		柏 南	1	6	9
	横 須 賀 西		1	2		柏 西	1	4	4
	座 間	1	2	3		君 津		1	2
	座 間 中 央	1	1	2		木 更 津		1	2
	逗 子		1	2		木 更 津 東		1	2
計			30	222				2	4
2790	我 孫 子		6	10		鋸 南 戸	1	9	15
	旭		2	4		松 戸 中 央	1	5	10
	千 葉	1	15	21		松 戸 東	2	8	11
	千 葉 中 央	1	8	13		松 戸 北	1	1	2
	千 葉 東		1	2		松 戸 西		2	4
	千 葉 幕 張		3	4		茂 原		2	3
	千 葉 南	1	15	26		茂 原 中 央	1	1	1
	千 葉 港	1	4	7		茂 原 東		3	6
	千 葉 西	1	14	26		流 山	1	2	3
	銚 子		2	4		流 山 中 央	1	1	1
	銚 子 東		1	2		習 志 野	1	4	8
	船 橋	1	3	3		習 志 野 中 央		1	1

地区	世話クラブ	'97年度	'97年度迄の累計		地区	世話クラブ	'97年度	'97年度迄の累計	
			人 数	総「人・年」				人 数	総「人・年」
2790	成 田	1	4	8	2600	長 野 東	2	10	13
	成 田		1	1		長 野 北 東	2	4	4
	コスモポリタン		2	2		長 野 北		4	6
	野 田 東		9	12		長 野 南		1	1
	小 見 川	1	2	3		長 野 西	1	2	3
	大 原	1	2	2		岡 谷		1	2
	佐 倉		3	4		岡 谷 エ コ ー	1	2	4
	佐 原	1	1	1		塩 尻	2	9	15
	新 千 葉	2	15	27		塩 尻 北	1	1	1
	沼 南		3	4		諏 訪		3	6
	袖 ケ 浦	1	2	3		諏 訪 湖	1	3	4
	多 古		3	4		辰 野		1	2
	館 山	1	11	19		上 田	1	2	2
	東 金	2	4	6		上 田 東		4	6
	浦 安		2	3		上 田 西	1	3	3
2600	八 千 代	1	6	9		計	28	140	216
	八 千 代 中 央		2	4	2760	あ ま	1	8	11
	横 芝		2	5		安 城	1	2	2
	四 街 道		2	4		知 立		1	2
	八 日 市 場	1	2	3		蒲 郡	1	2	4
	計	41	262	425		半 田	1	5	8
	あ づ み 野	2	9	14		半 田 南		2	3
	伊 那	1	8	12		碧 南		1	1
	伊 那 中 央	1	3	6		東 知 多		2	3
	駒 ケ 根	1	2	4		一 宮	1	3	4
	丸 子	1	1	2		一 宮 中 央	1	2	4
	松 本	1	13	22		一 宮 北		1	2
	松 本 東	2	12	18		稲 沢	1	3	4
	松 本 空 港	1	6	10		犬 山	1	3	5
	松 本 南	2	13	19		岩 倉		1	3
	松 本 城	1	1	2		刈 谷		2	4
	松 本 西 南	2	10	15		春 日 井		3	6
	箕 輪		5	9		小 牧		3	5
	長 野	1	7	11		江 南	1	3	5

地 区	世 話 ク ラ ブ	'97年度	'97年度迄の累計		地 区	世 話 ク ラ ブ	'97年度	'97年度迄の累計	
			人 数	総「人・年」				人 数	総「人・年」
2760	名 古 屋	1	19	36	2760	田 原	1	2	4
	名 古 屋 千 種		6	9		田原パンフィック		2	4
	名 古 屋 東	1	14	25		高 浜		1	3
	名 古 屋 北	1	14	31		常 滑		2	3
	名 古 屋 空 港	1	5	10		豊 橋	3	10	14
	名 古 屋 名 駅	1	2	5		豊橋ゴールデン	2	4	7
	名 古 屋 名 北	1	6	11		豊 橋 東	1	1	1
	名 古 屋 名 南		2	5		豊 橋 北	1	4	6
	名 古 屋 名 東		6	13		豊 橋 南	1	5	10
	名 古 屋 南		12	16		豊 川		1	2
	名 古 屋 港		8	18		豊 川 宝 飯		1	2
	名 古 屋 瑞 穂		4	7		豊 田	1	3	6
	名 古 屋 守 山		9	13		豊 田 東	1	2	3
	名 古 屋 中	1	12	18		豊 田 西		3	6
	名 古 屋 西	1	11	20		豊 山 城 北	1	3	6
	名 古 屋 錦	1	1	2		津 島		2	3
	名 古 屋 大 須	1	5	11		計	42	289	514
	名 古 屋 栄		2	4	2610	越 中 八 尾		3	4
	名 古 屋 西 南	1	1	2		射 水	1	5	9
	名 古 屋 昭 和	1	2	4		上 市		1	2
	名 古 屋 東 南	1	9	19		滑 川		3	4
	名 古 屋 和 合		11	21		高 岡		2	4
	西 春 日 井	1	6	8		高 岡 北	1	3	5
	西 尾		1	2		高 岡 万 葉	1	2	3
	西尾KIRARA	1	3	4		高 岡 西	2	5	8
	岡 崎	1	4	6		立 山		1	2
	岡 崎 東	1	2	5		富 山	2	14	25
	岡 崎 城 南	1	3	4		富 山 南	2	9	14
	岡 崎 南	1	3	4		富 山 中	1	8	13
	尾 張 旭	2	6	9		富 山 西	2	11	19
	尾 張 中 央		1	3		富山シティー	1	1	1
	瀬 戸		3	7		宇 奈 月		1	2
	瀬 戸 北		2	5		加 賀	1	1	2
	新 城		1	1		加 賀 中 央	1	2	3

地 区	世 話 ク ラ ブ	'97年度	'97年度迄の累計		地 区	世 話 ク ラ ブ	'97年度	'97年度迄の累計	
			人 数	総「人・年」				人 数	総「人・年」
2610	河 北		1	2	2620	三 島 西		2	2
	金 沢	2	16	28		長 泉		1	2
	金 沢 東		6	10		沼 津		1	2
	金 沢 北	1	6	9		清 水		3	4
	金沢香林坊	1	4	6		清水中央	2	4	7
	金 沢 南	1	7	11		清 水 北	1	4	8
	金沢みなと	1	2	4		清 水 西		3	5
	金 沢 西	2	11	20		静 岡	1	10	16
	能 美	2	4	6		静岡中央	2	5	9
	富 来		1	2		静岡東		6	8
2620	輪 島	1	1	1	2630	静岡北	1	3	5
	山 中		1	2		静岡南	1	4	7
	計	26	132	221		静岡日本平	1	5	8
	市 川 大 門		1	1		静岡西	2	7	11
	石 和	1	1	2		駿 河	1	1	1
	甲 府	2	7	11		裾 野		1	1
	甲 府 東		3	5		計	27	155	250
	甲 府 城 北	2	5	8		岐 阜	1	20	39
	甲 府 北	1	15	24		岐阜エトス		1	2
	甲 府 南	1	6	8		岐 阜 東	1	11	18
	甲 府 西		2	3		岐 阜 城	1	2	3
	甲府シティ		2	3		岐阜加納	1	8	13
	峡 中		1	2		岐 阜 北	1	4	8
	藤 枝 中	2	2	4		岐 阜 南	1	8	15
	浜 北		1	1		岐阜長良川	1	10	17
	浜 松	1	15	25		岐 阜 中	1	3	6
	浜 松 東	1	5	7		岐 阜 西	1	9	18
	浜 松 北		7	10		岐阜東南	1	3	5
	浜 松 南		6	11		羽 島		1	2
	浜 松 中	1	2	3		各 務 原		5	10
	浜 松 西	1	3	5		可 児	1	2	2
	磐 田	1	1	2		美 濃 加 茂		10	10
	三 島	1	9	18		瑞 浪	1	1	1
	三 島 南		1	1		本 巢		3	4

地 区	世 話 ク ラ ブ	'97年度	'97年度迄の累計		地 区	世 話 ク ラ ブ	'97年度	'97年度迄の累計	
			人 数	総「人・年」				人 数	総「人・年」
2630	大 垣		1	2	2650	守 山	1	1	1
	大 垣 中		1	1		長 浜	1	13	22
	大 垣 西	1	1	1		長 浜 東	1	5	7
	大垣センチュリー		1	2		大 津		5	7
	多 治 見		1	2		大 津 中 央		1	2
	伊 勢 南	1	1	1		大 津 東	1	5	8
	松 阪		1	2		大 津 西	1	4	6
	松 阪 東	1	5	10		近 江 八 幡		1	2
	松 阪 山 桜		1	2		栗 東		1	2
	鈴 鹿	1	2	3		高 島	1	6	10
	鈴 鹿 ベ イ	1	1	2		野 洲		1	2
	鈴 鹿 西		2	3		八 日 市		1	2
	津	1	13	18		八 日 市 南	1	1	1
	津 北	2	8	13		亀 岡		4	8
	津 南		2	4		京 都	1	33	73
2650	四 日 市	1	3	6		京 都 伏 見	1	11	24
	四 日 市 北	1	3	5		京 都 東	3	48	91
	四 日 市 南	1	1	1		京 都 北 東		3	6
	計	23	149	251		京 都 桂 川	1	2	3
	福 井	1	7	11		京 都 北		24	51
	福井フェニックス	1	2	3		京 都 南	2	20	37
	福 井 東	1	7	12		京 都 紫 野	1	15	28
	福 井 北	1	12	20		京 都 中	1	2	3
	福 井 南	1	8	17		京 都 西	1	16	30
	福 井 西	1	5	9		京 都 西 山		5	11
	丸 岡	1	2	4		京 都 乙 訓	1	5	9
	三 国		1	2		京 都 洛 中	2	9	15
	鯖 江 北		2	4		京 都 洛 北	1	16	28
	武 生	1	2	3		京 都 洛 南	1	3	5
	武 生 府 中		3	5		京 都 洛 西	1	6	9
	びわ湖八幡		2	2		京 都 洛 東	1	3	6
	彦 根	1	16	24		京 都 嵯 峨 野	1	2	4
	彦 根 南		9	15		京 都 西 北	1	5	7
	草 津	1	2	2		京 都 西 南	3	14	25

地区	世話クラブ	'97年度	'97年度迄の累計		地区	世話クラブ	'97年度	'97年度迄の累計	
			人数	総「人・年」				人数	総「人・年」
2650	京都紫竹	1	2	2	2640	松原	1	5	8
	京都朱雀	1	1	1		松原中	1	4	6
	京都山科	1	25	48		大阪狭山		2	3
	京都山城	1	1	1		堺	2	26	50
	京都八幡		3	5		堺東	2	13	25
	舞鶴		1	1		堺北西		1	2
	園部		2	4		堺泉ヶ丘	2	5	7
	宇治	1	7	16		堺北	1	6	10
	宇治鳳凰		1	2		堺南	1	15	30
	五條		1	1		堺中		4	8
	平城	1	5	10		堺南西	1	1	1
	生駒	2	9	16		堺西	1	7	11
	橿原	1	2	4		堺おおいずみ		6	10
	奈良良	3	30	52		堺清陵	1	6	12
	奈良東	1	4	6		堺泉北		9	19
2640	奈良西	2	14	20		堺東南	1	11	23
	奈良大宮	1	6	13		泉南		2	4
	桜井	2	5	8		高石	1	4	7
	大和郡山	1	1	1		高師浜	1	1	1
	計	59	491	889		富田林		5	10
	藤井寺		2	4		富田林南	1	5	9
	羽曳野	1	3	4		有田		1	1
	阪南		1	1		御坊	1	5	9
	和泉	2	6	13		御坊南	1	5	8
	和泉南	1	4	4		橋本	1	6	8
	泉大津	1	7	10		岩出		1	1
	泉佐野	1	7	15		海城南		6	10
	泉佐野南		1	2		海南東		1	1
	貝塚		1	2		粉河		3	6
	貝塚コスモス	1	2	2		高野山		2	4
	河内長野		6	11		田辺東		2	4
	岸和田	2	6	10		和歌山	2	3	4
	岸和田東	1	5	10		和歌山東	1	5	8
	岸和田北		1	1		和歌山城南	1	2	3

地 区	世 話 ク ラ ブ	'97年度	'97年度迄の累計		地 区	世 話 ク ラ ブ	'97年度	'97年度迄の累計	
			人 数	総「人・年」				人 数	総「人・年」
2640	和 歌 山 北	1	3	5	2660	大 阪 城		1	2
	和 歌 山 南	2	9	15		大 阪 城 南	1	7	17
	和 歌 山 中		1	1		大 阪 城 東	1	4	7
	和 歌 山 西		2	4		大 阪 柏 原		5	9
	和 歌 山 東 南		4	5		大 阪 北	1	13	24
	計	37	251	442		大 阪 北 梅 田		1	3
2660	大 東	1	6	13		大 阪 北 淀	1	4	6
	東 大 阪	1	8	15		大 阪 御 堂 筋	1	2	3
	東 大 阪 東	1	4	8		大 阪 南	1	8	15
	東 大 阪 中 央	1	11	19		大 阪 み な と		2	3
	東 大 阪 西	1	4	6		大 阪 中 之 島	1	1	1
	枚 方		1	2		大 阪 難 波		6	13
	枚 方 く ず は	1	3	6		大 阪 な に わ		2	5
	茨 木	1	8	13		大 阪 南 西		6	12
	茨 木 東		6	11		大 阪 西	1	8	14
	池 田	1	10	18		大 阪 大 手 前	1	6	11
	池 田 く れ は	1	4	9		大 阪 大 淀	1	5	11
	門 真		1	2		大 阪 西 北	1	12	22
	交 野		1	2		大 阪 西 南	1	8	11
	箕 面	1	11	21		大 阪 船 場		2	3
	箕 面 中 央	1	6	15		大 阪 心 斎 橋	1	6	11
	守 口		2	7		大 阪 城 北	1	4	9
	寝 屋 川		3	7		大 阪 そ ね ざ き	1	1	1
	大 阪	1	16	35		大 阪 住 之 江		4	8
	大 阪 阿 倍 野	1	7	13		大 阪 住 吉	1	13	21
	大 阪 ち ゃ や ま ち		2	4		大 阪 天 満 橋	1	10	16
	大 阪 中 央		3	7		大 阪 天 王 寺	1	2	3
	大 阪 堂 島	1	3	6		大 阪 東 南	1	4	6
	大 阪 阪 南	1	6	10		大 阪 鶴 見	1	4	6
	大 阪 イ ブ ニ ン グ	1	4	5		大 阪 梅 田	1	7	10
	大 阪 東	1	8	13		大 阪 梅 田 東	1	4	6
	大 阪 東 淀	1	5	11		大 阪 う つ ぼ	1	7	14
	大 阪 平 野		4	7		大 阪 淀 川	1	9	15
	大 阪 本 町		2	4		千 里	1	11	21

地 区	世 話 ク ラ ブ	'97年度	'97年度迄の累計		地 区	世 話 ク ラ ブ	'97年度	'97年度迄の累計	
			人 数	総「人・年」				人 数	総「人・年」
2660	撰 津	1	7	15	2680	伊 丹 昆 陽 池	1	1	1
	吹 田	1	10	23		柏 原	1	1	1
	吹 田 江 坂	1	4	7		加 古 川	1	3	3
	吹 田 西	1	6	12		加 古 川 中 央	1	3	3
	高 槻		4	8		加 古 川 平 成		3	4
	高 槻 東	1	5	10		川 西		1	3
	高 槻 西	1	2	3		川 西 猪 名 川		2	4
	豊 中	1	10	22		神 戸	3	22	39
	豊 中 南	1	6	14		神 戸 ベ イ	1	3	4
	豊 国 際 大 阪 港	1	8	14		神 戸 東	2	16	34
	豊 中 千 里	1	5	9		神 戸 東 灘		12	25
	八 尾		4	9		神 戸 北	1	8	15
	八 尾 中 央		1	2		神 戸 南	1	9	18
	八 尾 東		2	4		神 戸 中		1	2
	計	53	412	780		神 戸 西	2	18	31
2680	明 石	1	4	7		神 戸 六 甲	1	7	9
	明 石 北		3	4		神 戸 西 神	1	2	3
	明 石 西		3	4		神 戸 須 磨	1	11	20
	赤 穂		1	2		神 戸 須 磨 北		6	8
	尼 崎		5	7		神 戸 垂 水	1	8	11
	尼 崎 東	1	3	4		三 木		4	7
	尼 崎 北	1	5	10		西 宮	1	11	21
	尼 崎 南		2	2		西 宮 甲 子 園		10	18
	尼 崎 西		1	2		西 宮 夙 川	1	2	4
	芦 屋		7	11		西 脇	1	1	2
	芦 屋 川		2	3		小 野	2	7	11
	淡 路 三 原		1	1		三 田		2	2
	姫 路		6	8		篠 山	2	2	2
	姫 路 中 央		1	2		宝 塚		1	1
	姫 路 南		6	8		宝 塚 武 庫 川		3	4
	姫 路 西	1	1	1		龍 野	1	1	1
	北 条		1	2		計	30	241	404
	伊 丹		2	3	2670	鳴 門		4	6
	伊 丹 有 明		6	12		鳴 門 中 央		1	1

地 区	世 話 ク ラ ブ	'97年度	'97年度迄の累計		地 区	世 話 ク ラ ブ	'97年度	'97年度迄の累計	
			人 数	総「人・年」				人 数	総「人・年」
2670	徳 島	1	12	19	2690	倉 敷 東	1	3	4
	徳 島 中 央		2	3		岡 山	1	7	15
	徳 島 東	1	10	16		岡 山 旭 川		1	2
	徳 島 北	1	2	3		岡 山 備 南	1	5	7
	徳 島 南		5	10		岡 山 中 央		3	6
	徳 島 西		3	5		岡 山 東	1	9	16
	徳島プリンス	1	1	2		岡 山 北 西	1	2	4
	香 長		1	2		岡 山 城		2	3
	高 知	1	11	20		岡 山 北	1	13	23
	高 知 中 央	1	2	3		岡 山 岡 南	1	1	3
	高 知 東	1	3	3		岡 山 後 楽 園	1	4	8
	高 知 北	1	6	10		岡 山 丸 の 内		3	5
	高 知 南	1	2	2		岡 山 南	1	13	19
	高 知 西		1	2		岡 山 西	1	9	16
	道 後		1	1		岡 山 西 南	1	10	18
	松 山	1	10	17		総 社	1	1	1
	松 山 東	1	3	4		総 社 吉 備 路		1	2
	松 山 北		1	2		高 梁	1	2	4
	松 山 南	1	3	5		玉 野		2	4
	松 山 西	2	6	9		津 山		2	2
	白 鳥	1	1	1		牛 窓	1	1	3
	高 松	2	5	7		鳥 取		5	6
	高 松 中 央		3	6		鳥 取 中 央	1	2	4
	高松グリーン	1	1	2		鳥 取 北		2	3
	高 松 東		2	3		鳥 取 西		4	7
	高 松 北	1	1	2		米 子	1	1	1
	高 松 南		1	2		米 子 中 央	1	1	1
	高 松 西	1	4	5		米 子 東	1	1	1
	善 通 寺		5	8		出 雲		1	1
2690	計	20	113	181		出 雲 中 央	1	1	1
	備 前	1	6	10		出 雲 南	1	2	4
	笠 岡		1	1		松 江 東	1	7	13
	児 島		1	1		松 江 南	1	3	4
	倉 敷	1	6	8		松 江 南	1	3	5

地 区	世 話 ク ラ ブ	'97年度	'97年度迄の累計		地 区	世 話 ク ラ ブ	'97年度	'97年度迄の累計	
			人 数	総「人・年」				人 数	総「人・年」
2690	松江しんじ湖	1	1	1	2710	山 口 南	2	6	10
	計	26	142	237		計	32	226	375
2710	福 山 山		2	4	2700	甘 木	1	3	6
	福 山 南		3	6		豊 前	1	3	5
	東 広 島	5	7	11		豊 前 西	1	2	4
	広 島	4	30	53		筑 後	1	1	1
	広 島 安 芸	1	4	6		太 宰 府	1	6	10
	広 島 中 央		6	12		福 岡	1	43	108
	広 島 東	2	18	32		福 岡 中 央	1	12	19
	広 島 北	1	9	16		福 岡 平 成	1	3	5
	広 島 南	2	15	29		福 岡 東	1	16	35
	広 島 西	1	16	29		福 岡 城 南	1	8	13
	広 島 陵 北		4	6		福 岡 城 西	2	22	47
	広 島 西 南		8	13		福 岡 城 東	1	7	9
	広 島 東 南	2	14	22		福 岡 北	1	6	12
	呉	1	6	7		福 岡 南	1	20	43
	呉 東 南		2	3		福 岡 西	2	24	47
	呉 三 原	1	1	1		福 岡 東 南	1	22	38
	三 次 中 央	1	2	2		博 多	1	7	17
	大 竹 条	1	1	2		飯 塚		4	6
	西 萩	2	4	5		苅 田	1	2	2
	防 府 北		11	23		小 倉		6	14
	防 府 南		1	2		小 倉 中 央		1	2
	小 野 田	1	1	1		小 倉 東	1	9	25
	下 関 東		2	2		小 倉 南		3	7
	下 関 北	1	1	2		小 倉 西	1	4	7
	下 関 西		5	9		久 留 米	1	4	7
	下 関 東		6	7		久 留 米 中 央		3	7
	下 関 北		3	5		久 留 米 東	2	2	5
	下 関 西		4	5		久 留 米 北		4	7
	宇 部 西		4	5		前 原	1	2	4
	宇 部 西	2	9	12		門 司		2	4
	山 口 中 央	2	17	26		門 司 西		2	4
	山 口 中 央	1	4	7		宗 像	1	7	9

地 区	世 話 ク ラ ブ	'97年度	'97年度迄の累計		地 区	世 話 ク ラ ブ	'97年度	'97年度迄の累計	
			人 数	総「人・年」				人 数	総「人・年」
2700	直 方		2	3	2740	東 長 崎	3	11	20
	直 方 中 央		2	2		北 松 浦		1	1
	小 郡		3	5		長 崎	4	32	53
	遠 賀	1	2	3		長 崎 中 央	2	6	9
	大 川		2	5		長 崎 東	1	16	27
	大 牟 田		2	4		長 崎 北 東	2	7	12
	大 牟 田		2	4		長 崎 北		28	44
	大 牟 田		1	2		長 崎 南	2	20	34
	戸 畑		3	5		長 崎 西	1	5	8
	戸 畑	1	5	7		佐 世 保		5	10
	戸 畑	1	5	6		佐 世 保 南		3	5
	浮 羽		1	1		佐 世 保 西		2	4
	若 松		1	3		計	22	176	289
	若 松 中 央		3	6	2720	別 府		1	1
	八 幡 中 央	1	1	1		別 府 中 央		1	2
	八 幡 中 央	1	1	1		別 府 東	1	4	5
	八 幡 南		3	7		別 府 北		2	3
	八 幡 西		1	2		日 出	1	1	1
	柳 川	1	3	5		杵 築	1	3	3
	行 橋		3	6		大 分		3	5
	行 橋 み や こ		1	2		大 分 中 央	1	6	8
	鳥 栖	1	3	4		大 分 東		5	7
	壱 岐	1	1	2		大 分 1985	1	5	9
	計	35	309	613		大 分 城 西	1	5	7
	唐 津	1	1	2		大 分 空 港	1	1	1
2740	鹿 島		1	2		大 分 南		10	13
	小 城		1	1		大 分 臨 海		4	6
	佐 賀	1	11	18		荒 尾	1	1	2
	佐 賀 北		5	8		阿 蘇		1	2
	佐 賀 南		3	4		熊 本	1	13	26
	佐 賀 西	3	12	18		熊 本 中 央		3	5
	佐 賀 大 和	1	2	2		熊本グリーン		3	4
	武 雄		2	4		熊 本 平 成		3	6
	牛 津	1	2	3		熊 本 東	1	10	20

地 区	世 話 ク ラ ブ	'97年度	'97年度迄の累計		地 区	世 話 ク ラ ブ	'97年度	'97年度迄の累計	
			人 数	総「人・年」				人 数	総「人・年」
2720	熊 本 城 東	1	5	6	2730	延 岡		1	3
	熊 本 菊 南		1	1		阿 久 根		1	1
	熊 本 北	1	5	8		指 宿		1	2
	熊 本 江 南		10	15		鹿 児 島		15	25
	熊 本 南	2	9	16		鹿 児 島 中 央	3	12	21
	熊 本 西	1	4	7		鹿 児 島 東	1	4	6
	熊 本 西 南	1	4	7		鹿 児 島 城 西	1	2	3
	熊 本 西 稜		3	6		鹿 児 島 北		1	2
	熊 本 東 南		4	7		鹿 児 島 南		5	7
	松 橋	1	3	5		鹿 児 島 西	1	6	8
	西 天 草		1	3		鹿 児 島 西 南		2	3
	計	17	134	217		鹿 児 島 東 南		4	7
2730	都 城	1	1	2	総 計	鹿 屋 西		1	1
	都 城 北		1	2		国 分		1	1
	都 城 西	1	1	2		志 布 志		1	1
	宮 崎		2	3		計	12	81	130
	宮 崎 中 央		3	6		奨 学 生 数	※1 997	※2 7,495	※3 12,976
	宮 崎 北	2	6	9		ク ラ ブ 数	828	1,358	
	宮 崎 南	2	4	5					
	宮 崎 西		6	10					

※1: 1997年8月から世話クラブ変更者が1名いるため、奨学生数が実数を1名上回る997名になっている。

※2・3: クラブを主体とした表であるため、奨学期間の途中で世話クラブを変更している者は両方のクラブに含まれる。従って、実際の奨学生数(7,379名)および総数「人・年」(12,951名)を若干上回る。

(8) 地区別米山奨学委員会一覧表

(1997年度)

地 区	委 員 長 (所属RC)	委 員 (所属RC)
2500	進藤 恒彦 (帯 広)	武田 栄一 (帯 広 南) 北村 安正 (帯 広 北) 宮森祥八郎 (旭 川 北) 前田 啓三 (旭 川)
2510	堀居 信次 (札幌モーニング)	栗津健太郎 (札幌手稲) 池田 春男 (江 別) 勝木 純一 (札幌南) 吉田 彰 (札幌幌南)
2520	小山玄一郎 (盛 岡 南)	永沢 宏平 (千 厩) 伊藤 馨 (花 巻 南) 鈴木貞太郎 (一 関 西)
2810	鈴木 彦太 (佐 沼)	副委員長 鈴木 洋一 (築 館) 山口 郁夫 (石 巻 東) 那須 孝三 (岩 沼) 小埜寺敏文 (岩 出 山) 堀田正一郎 (仙 台 西) 日下 治夫 (白 石) 赤間 一司 (塩 釜 東) 後藤宗一郎 (仙 台)
2530	田代 隆一 (須 賀 川)	推進小委員長 阿久津 肇 (福 島) 林 清輔 (会 津 若 松) 上野 正行 (いわき平中央) 阿部 貞彦 (郡 山) 学友小委員長 鈴木 典夫 (福 島 北) 山本 邦夫 (会 津 若 松) 有賀敬四郎 (いわき平) 野口 仁 (郡 山 東)
2800	柏倉 学 (山 形 西)	羽生田敬蔵 (米 沢) 石井 敬三 (鶴 岡) 鈴木 秀男 (河 北) 鈴木喜左夫 (尾 花 沢) 大間 昭 (酒 田)
2540	柳原 良秋 (秋 田)	有明秀太郎 (大 曲) 石岡 好憲 (湯 沢) 金子 健三 (秋 田 東)
2830	図司 俊之 (青森モーニング)	西川 末春 (八 戸 東) 佐々木恵吉 (板 柳)
2550	勅使川原敏一 (足 利)	伴 清 (宇 都 宮 東) 土谷 博章 (小 山) 滝田 潔 (宇 都 宮 西) 漆原 康雄 (矢 板)
2820	説田 太郎 (土 浦)	小委員長 山田 千年 (鹿 島 臨 海) 奥田 浩堂 (友 部) 上野 光 (土 浦)

地 区	委 員 長 (所属RC)	委 員 (所属RC)
2560	吉井 孝夫 (高 崎)	五十嵐健雄 (桐 生) 加藤 晴弘 (富 岡) 藤田 松夫 (新 潟 中 央) 岩野 只一 (燕) 山田 邦男 (中 之 条) 小野 辰二 (五 泉)
2570	浅田 光二 (志 木)	米山奨学推進委員長 小林 熊二 (熊 谷) 井花 富男 (新 狭 山) 澤田 行雄 (東 松 山) 鈴木 映男 (川 越 西) 茂木進一郎 (新 所 沢) 岩崎 孝男 (熊 谷 東) 永井 忠造 (秩 父) 大越 武夫 (富 士 見) 平島 啓郎 (川 越 中 央) 米山奨学学友委員長 山田 隆 (川 越 中 央) 笠間 益伸 (坂戸さつき) 坂本美智雄 (上 里) 小久保 昇 (所 沢 西) 松田 正巳 (所 沢 中 央) 斎藤 行雄 (鶴ヶ島) 清 水 義 夫 (行 田) 河田 英一 (深 谷) 長沢 稔 (日 高) 島田陽之亮 (吹 上)
2770	小谷野英一 (浦 和 中)	嶋田久仁彦 (与 野 西) 山崎 英治 (春 日 部) 岡崎 力男 (越 谷) 木元 武一 (戸 田 西) 岡庭 稔宣 (三 郷) 中村 靖治 (吉川イブニング) 関口 恒徳 (川 口)
2580	山佐 福栄 (東 京 江 北)	副委員長 竹石 三吉 (東京練馬西) " 佐藤 晃 (東京池袋西) 長嶋 雅之 (東 京) 櫻井 権司 (東京武蔵野) 河西 昭典 (東京新都心) 渡邊 真人 (東京あすか) 守山 祐弘 (東京豊島東) 鈴木 喬 (東 京 江 北) 矢島 博 (東 京 足 立) 佐藤 璞直 (東 京 板 橋) 不二山世一 (東京武蔵野中央) 澤田 勝 (東京青 梅) 加藤 勇 (東 京 福 生) 宮崎 芳胤 (那 覇) 友利 清一 (那 覇 西)
2750	伊藤 昭治 (東京世田谷南)	副委員長 高世 英夫 (東 京 国 立) 馬場 幸一 (東 京 中 央) 仲田 順和 (東 京 港 南) 石井 勝巳 (東 京 羽 田) 矢袋 幸夫 (東京荏原かめりあ) 宇田川紀通 (東 京 杉 並) 長島 範朋 (東京成城新) 橋口 洋三 (東京多摩グリーン) 秋山 貞夫 (東京シティ日本橋)
2590	藤林 豊明 (横浜鶴見北)	米山奨学金増進委員長 持田 裕弘 (川 崎 高 津) 中山 春雄 (川 崎 日 吉) 内田 壽男 (横 浜 東) 中澤 靖武 (横 浜 中) 中村 利夫 (横浜保土ヶ谷) 米山学友委員長 井田 耕夫 (川 崎 鷺 沼) 中島 正臣 (川 崎 宮 前) 吉村 寿一 (横 浜 田 園) 永島 敬識 (横 浜 金 沢) 新穂 聡照 (横 浜 南 陵)

地 区	委 員 長 (所属RC)	委 員 (所属RC)
2780	大村日出雄 (茅ヶ崎湘南)	副委員長 養島 清夫 (小 田 原) 米山奨学金増進委員長 富田 英雄 (鎌 倉 大 船) 熊澤 満夫 (横 須 賀 西) 青木小四郎 (藤 沢 南) 大塚 淳夫 (綾 瀬) 内田 耕一 (相 模 原 北) 志村 昌 (海 老 名) 野川 耕吉 (二 宮) 夏賀 巖 (小田原城北) 米山学友委員長 市川 浩 (逗 子) 小島 正幹 (藤 沢) 土屋 翁三 (大 和 中) 杉崎 一雄 (平 塚 湘 南) 安藤 紀之 (箱 根)
2790	川口 卓三 (千 葉 西)	菊地 忠 (新 千 葉) 加倉井 正 (四 街 道) 森下 俊夫 (柏 西) 藤崎 雅春 (成 田) 小笹 三郎 (柏) 山中 一晃 (市 川 東) 学友担当 重田 吉輝 (富 津)
2600	浅田 節夫 (伊 那)	副委員長 中嶋 栄一 (あ づ み 野) 小口 正行 (長 野) 中越 紀雄 (松 本 南) 岡崎 光雄 (上 田 西)
2760	小田 公平 (豊 橋)	副委員長 天野 久 (西 尾) 加藤 凱也 (半 田) 堀田 能正 (豊 橋) 住田 守 (名 古 屋 港) 今枝 良治 (名 古 屋 北) 小野 文憲 (岡 崎 東)
2610	藤平 正夫 (富 山 南)	竹松 俊孝 (金 沢 東) 三村 信也 (高 岡) 高越 英之 (門 前) 萬谷 守男 (加 賀) 米沢 政明 (入 善) 須曾 茂 (七尾みなと)
2620	藤野 匡司 (浜 松 中)	副委員長 府川莊四郎 (清 水 北) 網倉 義久 (石 和)
2630	松岡 耕司 (四 日 市 北)	副委員長 近藤 進 (岐阜長良川) 土井 勇夫 (多 治 見) 中西 勉 (松 阪 東) 郷 睦和 (岐 阜 南) 市川 博 (中 津 川)
2650	吉田 精一 (長 浜)	副委員長 福井 弥平 (大 津 西) " 苅坂 毅 (奈 良 西) " 杜下 定夫 (京 都 洛 北) 大門 俊吾 (福 井 西) 服部 宏 (宇 治) 伊藤 勝悟 (草 津) 柴田 性紀 (福 井 東)

地 区	委 員 長 (所属RC)	委 員 (所属RC)
		田邊 廣躬 (福 知 山) 上田 陽 (京都嵯峨野) 安田 勝彦 (奈 良)
2640	釜下 保男 (堺 南)	御前 昌一 (和 歌 山 東) 玉置 雄二 (御 坊 南) 北田 和八 (堺 北) 濱口 公一 (田 辺) 卜半 幸三 (貝 塚) 音田 篤 (泉 佐 野)
		学友担当 田中 俊行 (橋 本) " 米田 實豊 (高 師 浜)
2660	三好三郎丸 (大阪天満橋)	副委員長 平田啓治郎 (大 阪 西 南)
		米山寄付金委員会委員長 平田啓治郎 (大 阪 西 南) " 副委員長 小松 英二 (大 阪 北) 宮竹 昭 (大阪大手前)
		米山奨学選考委員会委員長 酒井 宏 (大 阪 南) " 副委員長 渋谷 敏郎 (大 阪 北) 宮田 久嘉 (枚 方) 大森 清 (大 阪 淀 川)
		米山学友委員会委員長 中澤 章好 (大 阪 住 吉) " 副委員長 末村 斉 (豊 中)
		米山奨学生委員会委員長 北川 哲 (大阪天満橋) " 副委員長 藤川 隆治 (池 田) 坪内 隆 (茨 木 西) 小竹 靖二 (大阪中之島)
2680	赤木 文生 (神 戸 東)	副委員長 平尾 登 (篠 山) 北里 桂一 (伊 丹 有 明) 滝澤 功治 (神 戸 須 磨) 酒井 隆司 (あ わ じ 緑) 市居 嘉雄 (西 宮) 林野 昭之 (姫 路 西) 上西喜代士 (尼 崎 北) 大西 五郎 (加 古 川)
2670	坂本昌三郎 (高 知)	久米房之助 (高 松 西) 村上 敬朋 (今 治) 河原 次瞭 (松 山 南) 美馬 準一 (徳 島 中 央)
2690	田村 修一 (倉 敷)	安達 孝禮 (倉 吉 中 央) 角田 茂樹 (米 子 南) 森山 俊雄 (平 田) 斎藤 琢士 (井 原) 道廣 義明 (美 作) 梅田 昭正 (岡 山)
2710	脇 正典 (防 府)	小田原正三郎 (福 山) 杉井 英彦 (広 島 東 南)
		増強委員長 土井 英徳 (防 府) 脇田 敏嗣 (広 島 東 南)

地 区	委 員 長 (所属RC)	委 員 (所属 R C)
2700	波多野聖雄 (福 岡 中 央)	副委員長 的野 良次 (福 岡 東 南) 松井 弘彦 (遠 賀) 安田 稔 (小 倉) 高本 精之 (小 倉 東) 碓 浩一 (宗 像) 古賀 道弘 (久 留 米 北) 今里 政隆 (大 牟 田)
2740	香月 孝 (佐 賀)	七條 健 (雲 仙) 原田 晰玄 (佐 世 保 西) 今村 親示 (長 崎 南) 富田 菊夫 (唐 津 西) 梶 和之 (佐 賀 大 和) 久保 志郎 (佐 賀 西) 河野 浩太 (長 崎 琴 海)
2720	金馬 治郎 (大 分 南)	吉村 浩平 (熊 本 東) 杉田 辰彦 (熊 本 南) 志賀 史光 (大 分 城 西) 長谷川孝道 (熊 本)
2730	長友 大 (宮 崎 北)	大津 篤造 (鹿 児 島 中 央) 菅 健志 (鹿 児 島 中 央) 福富 健男 (宮 崎 北) 三木 靖 (鹿 児 島 城 西)

1996(平成8)年度 収支決算報告書

自1996年7月1日～至1997年6月30日

(単位: 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減 (△)
収 入 の 部			
1. 普 通 寄 付 金	500,000,000	512,605,070	12,605,070
2. 特 別 寄 付 金	1,550,000,000	1,569,672,993	19,672,993
3. (小 計)	(2,050,000,000)	(2,082,278,063)	(32,278,063)
4. 利 子 収 入	268,000,000	291,203,434	23,203,434
5. 公 社 債 償 還 益	0	0	0
6. 雑 収 入	100,000	655,845	555,845
7. (小 計)	(268,100,000)	(291,859,279)	(23,759,279)
8. 当 期 収 入 合 計	2,318,100,000	2,374,137,342	56,037,342
9. 前 年 度 繰 越	116,142,896	116,142,896	0
10. 合 計	2,434,242,896	2,490,280,238	56,037,342
支 出 の 部			
11. 奨 学 生 関 係 費	(1,955,650,000)	(1,899,488,331)	(△56,161,669)
12. 奨 学 金	1,716,950,000	1,667,870,000	△49,080,000
13. 課 外 補 助 金	50,000,000	52,927,420	2,927,420
14. 医 療 補 助 費	700,000	405,610	△294,390
15. 記 念 品 費	18,000,000	15,469,010	△2,530,990
16. 試 験 ・ 会 合 費	34,000,000	27,804,887	△6,195,113
17. 地区米山奨学生活動費	50,000,000	49,950,000	△50,000
18. カウンセラー活動費	20,000,000	19,980,000	△20,000
19. 通 信 費	4,000,000	2,611,451	△1,388,549
20. 図 書 費	16,500,000	16,059,567	△440,433
21. 送 金 手 数 料	5,500,000	5,550,736	50,736
22. 元 奨 学 生 関 係 費	4,000,000	3,852,759	△147,241
23. 奨 学 生 名 簿 費	5,000,000	5,494,525	494,525
24. 世 話 ク ラ ブ 補 助 費	30,000,000	29,970,000	△30,000
25. 奨 学 生 雑 費	1,000,000	1,542,366	542,366
26. 事 務 関 係 費	(190,100,000)	(191,647,895)	(1,547,895)
27. 会 合 ・ 旅 費	24,000,000	21,426,506	△2,573,494
28. 給 与 費	56,000,000	58,821,667	2,821,667
29. 福 利 厚 生 費	9,000,000	9,700,227	700,227
30. 通 信 費	7,000,000	6,220,005	△779,995
31. 印 刷 費	15,000,000	13,677,424	△1,322,576
32. 文 具 費	1,000,000	772,060	△227,940
33. 借 室 料	20,000,000	19,596,681	△403,319
34. 交 通 費	3,000,000	1,841,153	△1,158,847
35. 募 金 経 費	45,000,000	50,428,022	5,428,022
36. 什 器 備 品 費	0	46,350	46,350
37. 送 金 手 数 料	300,000	156,718	△143,282
38. 退 職 給 与 引 当 金 繰 入	3,800,000	4,081,300	281,300
39. 事 務 機 賃 借 料	3,000,000	3,022,640	22,640
40. 事 務 費 雑 費	3,000,000	1,857,142	△1,142,858
41. 予 備 費	5,000,000	0	△5,000,000
42. 当 期 支 出 合 計	2,150,750,000	2,091,136,226	△59,613,774
剰 余 金			
43. 前 年 度 繰 越	116,142,896	116,142,896	0
44. 当 年 度 剰 余 金	167,350,000	283,001,116	115,651,116
45. 小 計	283,492,896	399,144,012	115,651,116
46. 合 計	2,434,242,896	2,490,280,238	56,037,342

1996(平成8)年度 貸借対照表

1997年6月30日現在

(単位:円)

<u>資 産 の 部</u>		<u>負 債 の 部</u>	
<u>基 本 財 産</u>			
国 債	3,628,893,000	預 り 金	1,000
貸 付 信 託	431,590,000	退 職 給 与 引 当 金	58,598,300
金 融 債	275,000,000		
政 府 保 証 債	195,464,000		
自由金利型定期預金	469,053,000		
(基本財産計	5,000,000,000)	(負債合計	58,599,300)
<u>運 用 財 産</u>		<u>正 味 財 産 の 部</u>	
国 債	1,583,505,250	基 本 金	5,000,000,000
金 融 債	870,000,000	特 別 積 立 金	4,000,000,000
社 債	500,000,000	剰 余 金 (注)	399,144,012
自由金利型定期預金	1,300,000,000		
通 知 預 金	100,000,000		
普 通 預 金	89,448,942		
未 収 入 金	1,160,000		
敷 金	13,629,120		
(運用財産計	4,457,743,312)	(正味財産計	9,399,144,012)
資 産 合 計	9,457,743,312	負債・正味財産合計	9,457,743,312

(注) 剰余金の内訳

敷 金 に 充 当	13,629,120
そ の 他 の 運 用 財 産	385,514,892
合 計	399,144,012

財 産 目 録

1997年 6 月30日現在

資 産 の 部

(単位：円)

科 目	金 額	備 考
基 本 財 産		
国 債	3,628,893,000	額 面 3,666,000,000
貸 付 信 託	431,590,000	三井信託銀行本店
金 融 債	275,000,000	東京三菱銀行
政 府 保 証 債	195,464,000	第11回 本州四国連絡橋 債券 額面 200,000,000
自由金利型定期預金	469,053,000	さくら銀行京橋支店 239,053,000 三井信託銀行本店 230,000,000
(小 計)	(5,000,000,000)	
運 用 財 産		
国 債	1,583,505,250	利付国債 額 面 450,000,000 割引国債 額 面 1,220,000,000
金 融 債	870,000,000	東京三菱銀行
社 債	500,000,000	東京電力債 400,000,000 中部電力債 100,000,000
自由金利型定期預金	1,300,000,000	さくら銀行京橋支店 600,000,000 三井信託銀行本店 700,000,000
通 知 預 金	100,000,000	さくら銀行京橋支店
普 通 預 金	89,448,942	さくら銀行京橋支店 87,623,246 東京三菱銀行新丸の内支店 1,311,308 三井信託銀行本店 514,388
未 収 入 金	1,160,000	宇和島 R C (第2670地区) 630,000 横浜保土ヶ谷 R C (第2590地区) 530,000
敷 金	13,629,120	(株)エービーシー会館
(小 計)	(4,457,743,312)	
合 計	9,457,743,312	

負 債 の 部

預 り 金	1,000	郡山南 R C (第2530地区)
退職給与引当金	58,598,300	
合 計	58,599,300	

正 味 財 産	9,399,144,012	
---------	---------------	--

剰 余 金 処 分

(単 位 : 円)

剰 余 金	399,144,012
-------	-------------

こ れ を 次 の 通 り 処 分 し ま す。

特 別 積 立 金	200,000,000
-----------	-------------

次 年 度 繰 越	199,144,012
-----------	-------------

監 査 報 告 書

1996年度 (自1996年 7月 1日)
至1997年 6月30日

財団法人 ロータリー米山記念奨学会

理事長 末 永 直 行 殿

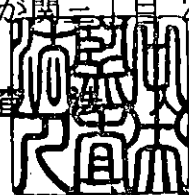
1997年7月23日

東京都千代田区霞が関三丁目 2番 5号霞が関ビル32階

中 央 監 査

代表社員
関与社員

公認会計士



北村 吉弘



当法人は、財団法人ロータリー米山記念奨学会の1996年7月1日から1997年6月30日までの1996年度会計の監査のため、同会事務局へ往査して、寄付行為・決算書類・帳簿記録及びその他の証憑書類等を査閲いたしました。

監査の結果、その会計手続は寄付行為及び施行細則に従って正当に実施されており、また、ここに添付されている収支決算報告書・貸借対照表及び財産目録は同会の1996年度の収支の状況及び同年末における財産状態を正しく表示し、更に剰余金処分案は正当なものであることを認めました。

同会と当法人又は関与社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はありません。

以 上



監査報告書

1997年8月1日

1. 1996（平成8）年度 会計報告につき詳細監査した結果、収支決算書並びに財産目録は、いずれも正確、適正なることを認め、ここに報告します。

剰余金処分案は、適正なものと認めます。

2. 中央監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

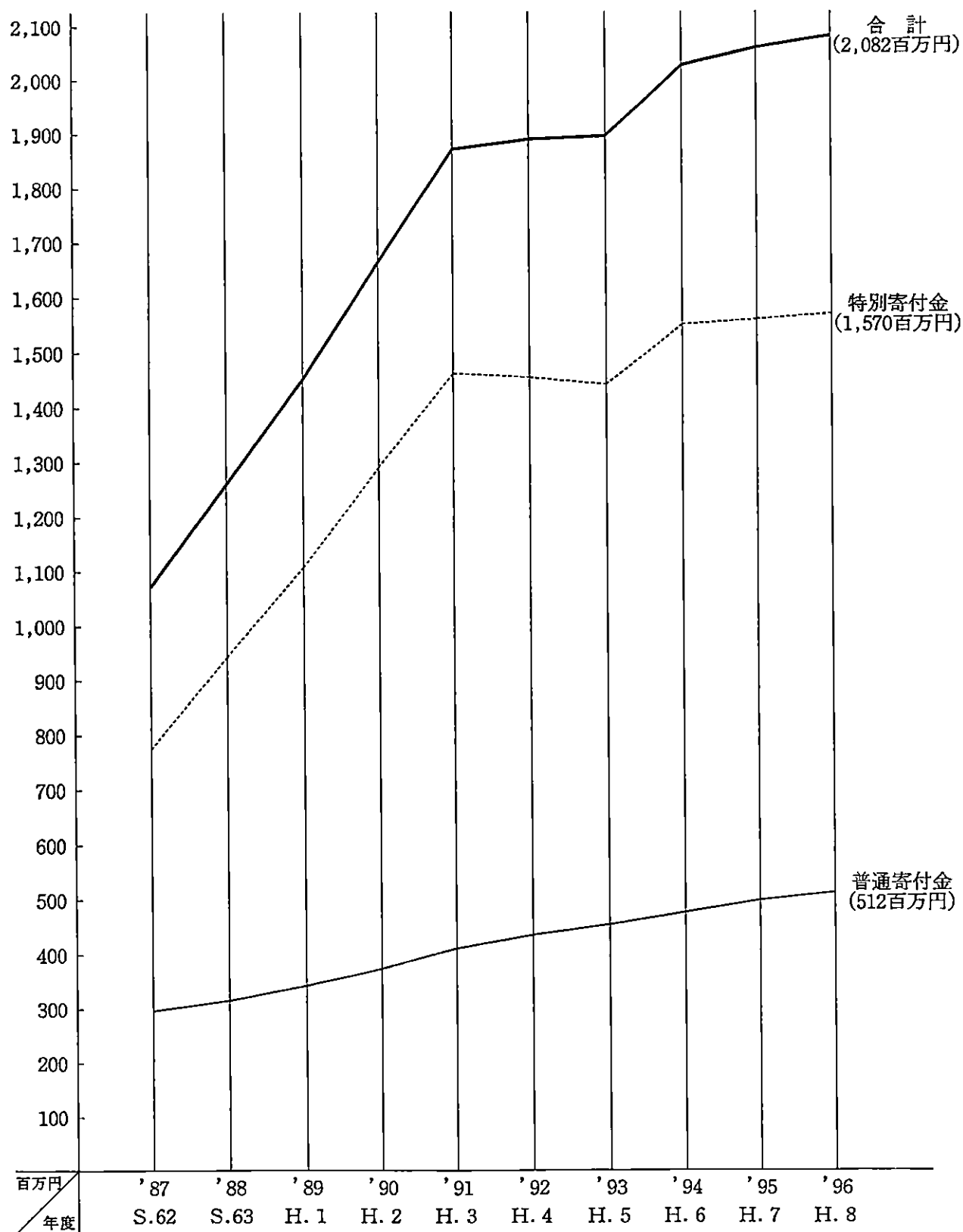
監 事 加美山 節 

監 事 杉 中 五 郎 

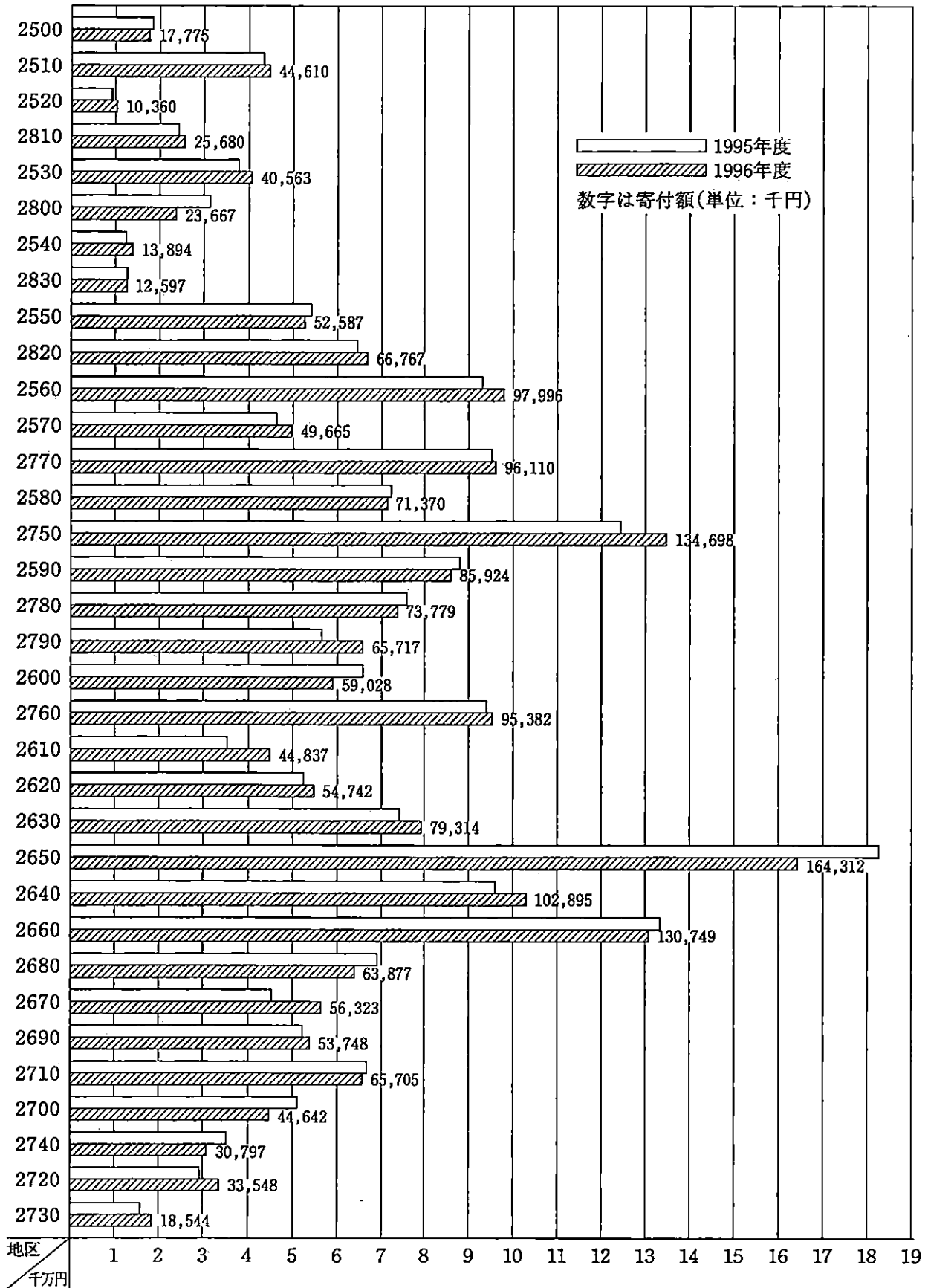
監 事 松 本 良 孝 

財団法人ロータリー米山記念奨学会

過去10年間年度別寄付金推移

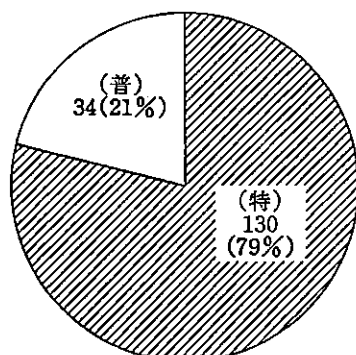


財団法人ロータリー米山記念奨学会
全国寄付金納入状況



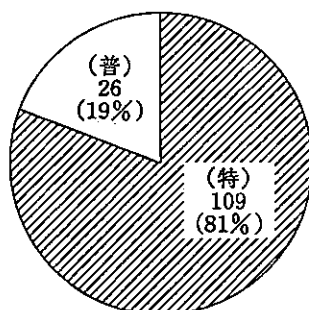
財団法人ロータリー米山記念奨学会
1996(平成8)年度寄付金9千万円以上の地区

2650地区
164百万円



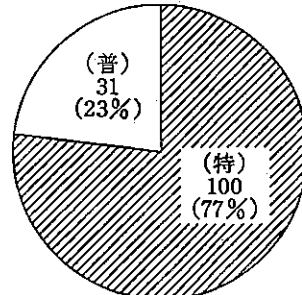
6,735名
1人平均24,396円

2750地区
135百万円



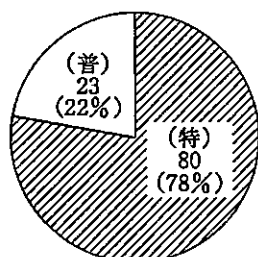
5,813名
1人平均23,171円

2660地区
131百万円



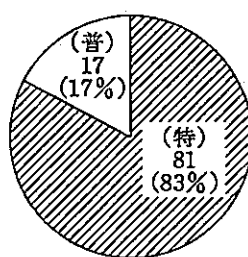
5,635名
1人平均23,203円

2640地区
103百万円



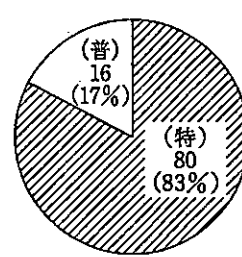
3,841名
1人平均26,788円

2560地区
98百万円



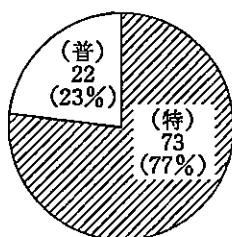
5,594名
1人平均17,517円

2770地区
96百万円



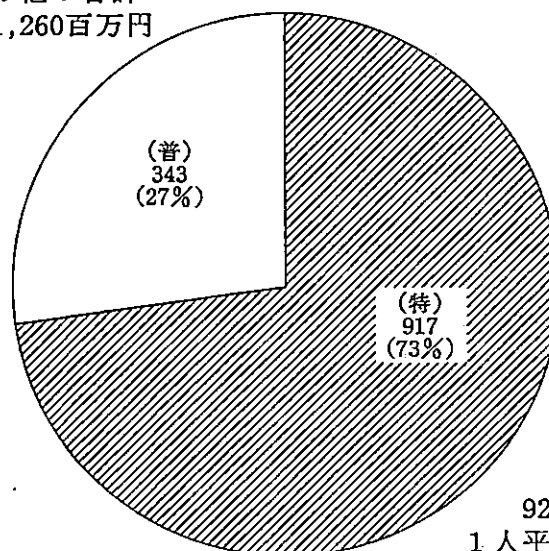
3,907名
1人平均24,599円

2760地区
95百万円



6,350名
1人平均15,020円

その他の合計
1,260百万円

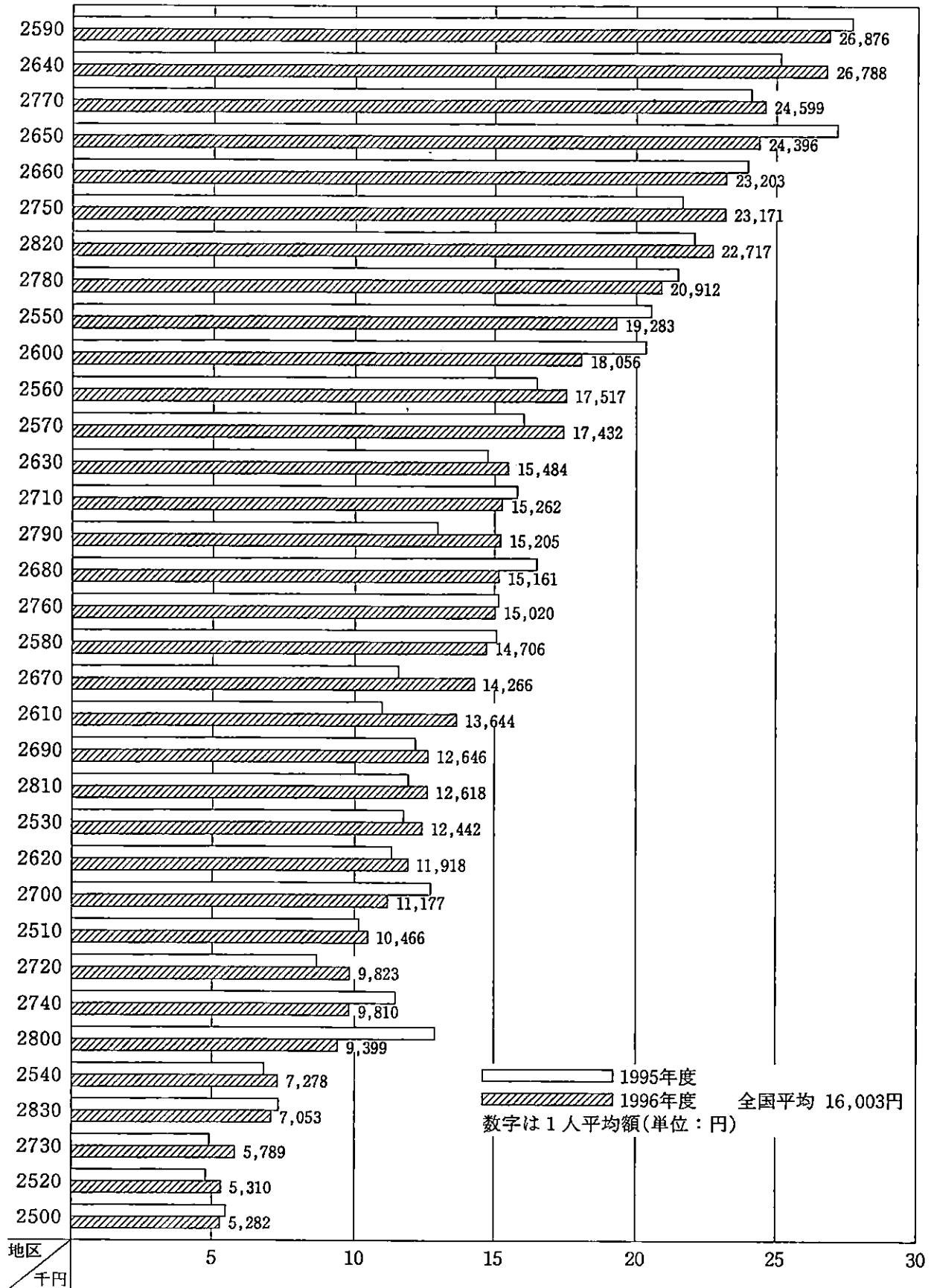


92,238名
1人平均13,661円

□ 普通寄付金
▨ 特別寄付金

財団法人ロータリー米山記念奨学会

地区別 1 人平均順位



1997（平成9）年度 事業計画

自1997年7月1日～至1998年6月30日

1. 奨学生数および奨学金

(1) 1998年4月からの奨学生は、

Y奨学生およびDisY奨学生	1010人
内 大学院生	760人（仮定）
学部生	250人（仮定）
CY奨学生	50人（仮定）
SY-1奨学生	15人
SY-S奨学生	10人
調整枠(SY-Jおよび台湾・韓国学友会 推薦採用者を含む)	15人

計1100人

と予定する。

CY奨学金申請者数は明年1月頃に判明するが、現時点では50人と仮定し、それ以上の場合は枠外で採用する。

(2) 奨学金は、次の通り支給する。

学部生（YU）	}	月額12万円
地区米山奨学生（DisY-A）		
特別米山奨学生（SY-1）		
大学院生（YMD）	}	月額15万円
クラブ米山奨学生（CY）		
地区米山奨学生（DisY-B）		
特別米山奨学生（SY-S）	}	月額22万円
特別米山奨学生（SY-J）	}	月額25万円

2. Y奨学金制度は、YUとYMDの2種類とする。

(1) YUは、1998年4月より

学部3、4年目

医・歯・獣医学部5、6年目とする。

ただし、地域によっては国籍による制限がある。

(2) YMDは、1998年4月より

大学院修士課程1、2年目

博士課程2、3年目

医・歯・獣医学系博士課程3、4年目とする。

奨学期間は2カ年以内とする。

(詳細は「募集要項」を参照)

3. CY奨学金制度の適用範囲

現在YMDおよびDisY-B奨学金を受給中の者で、奨学期間終了後1年以内で博士号取得見込みと、指導教官および学務委員会が判断した者。(その学生の世話クラブが、奨学金の半額を負担しても奨学したいと強く希望した場合。)

ただし奨学金の支給は、CY奨学期間を含み、通算3年を越えることはない。

(詳細は別添の「CY奨学金制度」を参照)

4. DisY奨学金制度

(1) DisY-A

ロータリー・クラブ所在国から来日し、短期大学、高等専門学校ならびに同専攻科、専修学校専門課程等に在籍する者。

毎年各地区1名以内で、地区の割当数内で採用。

(2) DisY-B

以前にロータリー・クラブが存在していた国から修学または学術研究のため在留資格「留学: College Student」で来日し、1998年4月より大学院の次の課程・学年に在籍する者。

修士課程1、2年目

博士課程2、3年目

医・歯・獣医学系博士課程3、4年目

割当数は、各地区の当該年度割当数の15%以内とし、小数点以下は切り上げ可。

なお、DisY-B継続者およびCYは、この15%の枠外とする。

各地区割当数の中で採用する。

(詳細は、別添の「DisY奨学金制度」を参照)

5. SY奨学金制度

(1) SY-1

ロータリー・クラブのある発展途上国（以前にロータリー・クラブが存在していた発展途上国を含む）から来日する短期研修生に対する奨学金。

常務理事会および理事会において、受入団体と各団体への割当人数を定め、常務理事会においてその採用を決定する。

奨学金 月額12万円

その他の補助費はY奨学生に準ずる。

奨学期間 1年以内

採用人数 15人以内

受入団体 アジア学院とPHD協会

(2) SY-S

第4期実施期間：1996年7月から1999年6月までの3年間

日本の大学において博士号取得済の元米山奨学生（帰国後5年以上経過し、50才未満の者）で、日本国内における研修プログラム、指導者、受入団体および研究室等がすでに決まっており、短期間の研修後帰国し、母国の発展に寄与する者を対象とする奨学金。

奨学金 月額22万円

日本国内の学会・研修出席旅費として、別途5万円支給する。

奨学期間 2カ月以上6カ月以内

採用人数 10人以内

(3) SY-J

第2期試行期間：1996年7月から1999年6月までの3年間

外国の大学、研究機関において日本研究に従事している常勤の上級研究者（博士号取得者）で、日本に関する研究活動を行おうとする者を招へいする制度。我が国の大学等学術研究機関において、受入研究者と共に研究に従事することにより、外国人研究者の研究進展を援助するとともに、世話ロータリー・クラブと接触することによってロータリーの理想とする国際理解と親善に寄与することを目的とする。

奨学金 月額25万円

渡航費等諸費用の補助あり

招へい期間 6月から12カ月

（詳細は別添の「SY奨学金制度」を参照）

6. 台湾・韓国の学友会が推薦する申込者の採用

当奨学金申込者のなかから、毎年大学および課程・学年を指定し、台湾・韓国の学友会に各3名の推薦を依頼する。

両国の学友会は推薦を決定するに当り、この件についての責任ロータリアンとともに選考にあたる。

当会にて書類選考を行う。基本的に先方の推薦を重視するが、地区において面接し、常務理事会において最終決定する。

学 年 1998年4月から大学院
博士課程2・3年目、
医・歯・獣医学系博士課程3・4年目
試行期間 1996学年度より3年間試行

7. 選考事務の地区への委託

- (1) 米山奨学会事務局は、受付けた申込書を地区別に仕分けし、それぞれの地区ガバナー事務所へ送付。
- (2) 米山奨学会は、各地区ガバナー事務所に対し、選考事務委託に伴う諸経費（金額は常務理事会で決定）を支払う。
- (3) ガバナーより選考委員が委嘱される。
- (4) 各地区ガバナー事務所において申込書をコピーし、選考委員に配布。
- (5) 第一次試験（書類審査、応募者多数の場合筆記試験）の実施。
- (6) 第一次試験結果を米山奨学会事務局へ通知。無資格者へ無資格通知発送。第一次試験不合格者へ不合格通知発送。第一次試験合格者へ面接試験通知発送。
- (7) 面接試験の実施。
- (8) 合格内定者および補欠を米山奨学会事務局へ通知。
- (9) 米山奨学会事務局は合格内定者の資格を確認し、もし不適格者があれば、補欠者を繰上げ合格内定者に加えて、常務理事会へ報告。
- (10) 常務理事会で合格者を決定。
- (11) 米山奨学会事務局は合格者に合格通知を発送。

8. 専門委員会

財務・学務・広報・学友の4部門の委員会を開き、専門家の意見を取り入れ、当会の事業をより充実、発展させる。

9. 在日米山奨学生学友会

日本に滞在している元および現米山奨学生の学友会を、各地区または地域で設置する。

10. 「よねやまだより」

年2回発行している「よねやまだより」をロータリアン・指導教官・奨学生および在日・一部帰国学友に配布して、当会事業への理解を深める。

11. 寄付の推進

- (1) 安定財源として普通寄付の推進につとめる。
- (2) 免税措置のPRを図り、特別寄付を一層推進する。

1997（平成9）年度 収支予算

自1997年7月1日～至1998年6月30日

（単位：円）

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
収 入 の 部			
1. 普 通 寄 付 金	510,000,000	500,000,000	10,000,000
2. 特 別 寄 付 金	1,600,000,000	1,550,000,000	50,000,000
3. （ 小 計 ）	(2,110,000,000)	(2,050,000,000)	(60,000,000)
4. 利 子 収 入	250,000,000	268,000,000	△18,000,000
5. 公 社 債 償 還 益	24,152,000	0	24,152,000
6. 雑 収 入	100,000	100,000	0
7. （ 小 計 ）	(274,252,000)	(268,100,000)	(6,152,000)
8. 当 期 収 入 合 計	2,384,252,000	2,318,100,000	66,152,000
9. 前 年 度 繰 越	199,144,012	116,142,896	83,001,116
10. 合 計	2,583,396,012	2,434,242,896	149,153,116
支 出 の 部			
11. 奨 学 生 関 係 費	(2,029,880,000)	(1,955,650,000)	(74,230,000)
12. 奨 学 金	1,765,880,000	1,716,950,000	48,930,000
13. 課 外 補 助 金	57,000,000	50,000,000	7,000,000
14. 医 療 補 助 費	700,000	700,000	0
15. 記 念 品 費	20,000,000	18,000,000	2,000,000
16. 試 験 ・ 合 合 費	34,000,000	34,000,000	0
17. 地 区 奨 学 生 活 動 費	49,800,000	50,000,000	△200,000
18. カウンセラー活動費	22,000,000	20,000,000	2,000,000
19. 通 信 費	4,000,000	4,000,000	0
20. 函 書 費 料	17,000,000	16,500,000	500,000
21. 送 金 手 数 料	6,000,000	5,500,000	500,000
22. 元 奨 学 生 関 係 費	15,000,000	4,000,000	11,000,000
23. 奨 学 生 名 簿 費	4,500,000	5,000,000	△500,000
24. 世 話 クラブ 補 助 費	33,000,000	30,000,000	3,000,000
25. 奨 学 生 雑 費	1,000,000	1,000,000	0
26. 事 務 関 係 費	(211,400,000)	(190,100,000)	(21,300,000)
27. 会 合 ・ 旅 費	26,000,000	24,000,000	2,000,000
28. 給 与 費	68,000,000	56,000,000	12,000,000
29. 福 利 厚 生 費	5,500,000	9,000,000	△3,500,000
30. 通 信 費	7,000,000	7,000,000	0
31. 印 刷 費	17,000,000	15,000,000	2,000,000
32. 文 具 費 料	1,000,000	1,000,000	0
33. 借 室 費 料	20,000,000	20,000,000	0
34. 交 通 費	3,000,000	3,000,000	0
35. 募 金 経 費	37,000,000	45,000,000	△8,000,000
36. 什 器 備 品 費 料	15,000,000	0	15,000,000
37. 送 金 手 数 料	300,000	300,000	0
38. 退 職 給 与 引 当 金 繰 入	4,000,000	3,800,000	200,000
39. 事 務 機 賃 借 料	2,000,000	3,000,000	△1,000,000
40. 地 区 委 員 長 事 務 補 助 費	2,600,000	0	2,600,000
41. 事 務 費 雑 費	3,000,000	3,000,000	0
42. 予 備 費	30,000,000	5,000,000	25,000,000
43. 当 期 支 出 合 計	2,271,280,000	2,150,750,000	120,530,000
剰 余 金			
44. 前 年 度 繰 越	199,144,012	116,142,896	83,001,116
45. 当 年 度 剰 余 金	112,972,000	167,350,000	△54,378,000
46. 小 計	312,116,012	283,492,896	28,623,116
47. 合 計	2,583,396,012	2,434,242,896	149,153,116

注：1997年6月30日現在、年度末の数字にもとづき、剰余金および前年度繰越金を修正。

1997(平成9)年度 評 議 員

新任 ※印 (38名)

再任 △印 (63名)

第2500地区

△梶 浦 利 和 (留 辺 薬)
 ※清 水 哲 也 (旭 川 南)
 △坂 本 一 (釧 路 北)

第2540地区

△作左部 貢 (本 荘)
 ※小 林 茂 (鷹 巣)
 △柳 原 良 秋 (秋 田)

第2510地区

△石 垣 博 美 (札 幌 西)
 ※伊 藤 長 英 (苫 小 牧 北)
 △堀 居 信 次 (札幌モーニング)

第2830地区

△小 宅 弘 道 (弘 前 東)
 ※黒 田 正 宏 (八 戸 南)
 ※関 司 俊 之 (青森モーニング)

第2520地区

△駒 木 一 雄 (盛 岡 北)
 ※豊 島 純三郎 (宮 古)
 △高 橋 忠 夫 (北 上 西)

第2550地区

△吉 澤 兵 左 (葛 生)
 ※黒 須 靖 (宇 都 宮 西)
 △辻 由兵衛 (宇 都 宮 東)

第2810地区

△松 田 英 一 (仙 台 泉)
 ※加 藤 昭 (仙 台 東)
 △鈴 木 彦 太 (佐 沼)

第2820地区

△西 村 敏 彦 (古 河)
 ※塙 東 男 (笠 間)
 △佐 藤 二 郎 (土 浦)

第2530地区

△鈴 木 喬 二 (いわき平中央)
 ※岩 崎 稠 (福 島 東)
 △田 代 隆 一 (須 賀 川)

第2560地区

△久保田 昭 治 (伊勢崎中央)
 ※富 山 富 一 (新 潟 南)
 △吉 田 昭 平 (村 上)

第2800地区

△菅 繁 三 (東 根)
 ※高 橋 文 夫 (山 形 北)
 △柏 倉 学 (山 形 西)

第2570地区

△寺 山 栄 一 (深 谷 東)
 ※立 原 利 夫 (川 越 南)
 △浅 田 光 二 (志 木)

第2770地区

△久世晴雅(大宮中央)
※高浜彰男(幸手)
※寺岡孝(桶川)

第2580地区

△阿部孝(東京神田)
※徳増須磨夫(東京)
△石川利一(東京西北)

第2750地区

△岩井敏(東京京浜)
※村野順三(東京町田)
△中村健二郎(東京城西)

第2590地区

△岡本徳彌(川崎北)
※大須賀洋(横浜)
△青山彰義(横浜鶴峰)

第2780地区

△小山計玄(伊勢原)
※後藤忠雄(横須賀南)
△河本親秀(大磯)

第2790地区

△平山金吾(成田)
※渡邊隆(習志野)
△長島洋三(市川東)

第2600地区

△原秀好(松本)
※宮本忠長(長野東)
△池上英雄(辰野)

第2760地区

△犬飼栄輝(名古屋東南)
※内藤明人(名古屋西)
△松本宏(半田)

第2610地区

△仲谷純三(小松)
※四津谷道昭(高岡)
△高田秀穂(富山西)

第2620地区

△岩波政雄(甲府北)
※大石隆久(浜松)
△青島廣幸(静岡)

第2630地区

△福井隆男(鈴鹿西)
※松本博和(岐阜東)
△松岡耕司(四日市北)

第2650地区

△山田三郎(亀岡)
※宮崎茂和(福井)
※中野重宏(奈良)

第2640地区

△堤啓治(和歌山)
※亀岡弘(泉南)
△大丸昌讓(堺南)

第2660地区

△近藤雅臣(千里)
※吉川謹司(東大阪東)
※菅生浩三(大阪北)

第2680地区

△松下克巳(三田)
※谷水清司(神戸西)
△市居嘉雄(西宮)

第2700地区

△大屋麗之助(福岡南)
※菅正明(戸畑東)
△本間四郎(久留米東)

第2670地区

△吉村雄治(高知南)
△三宅洋三(高松)

第2740地区

△辻洋三(佐世保南)
※野崎元治(長崎)
△牟田勝輔(武雄)

第2690地区

△橋本譲(倉敷)
※大藤真(岡山)
※田村修一(倉敷)

第2720地区

△西島世晃(佐伯MARINE)
※東勝俊(熊本江南)
△志賀史光(大分城西)

第2710地区

△南園義一(防府)
※仁田一也(広島東南)
△天野肇(福山)

第2730地区

△図師鎮雄(西都)
※岩城巖(国分)
△長友大(宮崎北)

1997(平成9)年度 理事および監事

※印 新任

理 事 長	末 高	永 野	直 孫	行 門	(2700)	福 岡 西
副 理 事 長	増 島	田 津	左 房	エ 二	(2620)	甲 府
〃	渡 濱	辺 野	久 徹	厚 一	(2650)	京 都 山 科
〃	近 藤	屋 本	堅 正	照 春	(2730)	都 城
常 務 理 事	〃	〃	〃	一 照	(2560)	新 鴻
〃	〃	〃	〃	春 清	(2580)	東 京 江 北
〃	〃	〃	〃	臣 明	(2750)	東 京 目 黒
〃	〃	〃	〃	一 健	(2690)	倉 敷
〃	〃	〃	〃	一 健	(2710)	福 山
〃	〃	〃	〃	一 健	(2500)	旭 川
〃	〃	〃	〃	一 健	(2510)	札 幌 手 稲
〃	〃	〃	〃	一 健	(2520)	大 船 渡 西
〃	〃	〃	〃	一 健	(2810)	塩 釜
〃	〃	〃	〃	一 健	(2530)	郡 山 東
〃	〃	〃	〃	一 健	(2800)	寒 河 江
〃	〃	〃	〃	一 健	(2540)	大 曲
〃	〃	〃	〃	一 健	(2830)	青 森 北 東
〃	〃	〃	〃	一 健	(2550)	西 那 須 野
〃	〃	〃	〃	一 健	(2820)	水 戸
〃	〃	〃	〃	一 健	(2570)	秩 父
〃	〃	〃	〃	一 健	(2770)	大 宮 西
〃	〃	〃	〃	一 健	(2580)	東 京
〃	〃	〃	〃	一 健	(2580)	東 京 神 田
〃	〃	〃	〃	一 健	(2750)	東 京 銀 座
〃	〃	〃	〃	一 健	(2590)	横 浜 東
〃	〃	〃	〃	一 健	(2780)	相 模 原 中
〃	〃	〃	〃	一 健	(2790)	柏
〃	〃	〃	〃	一 健	(2600)	松 本
〃	〃	〃	〃	一 健	(2760)	半 田
〃	〃	〃	〃	一 健	(2610)	小 松
〃	〃	〃	〃	一 健	(2630)	岐 阜
〃	〃	〃	〃	一 健	(2640)	泉 佐 野
〃	〃	〃	〃	一 健	(2660)	大 阪 阪 南
〃	〃	〃	〃	一 健	(2680)	加 古 川
〃	〃	〃	〃	一 健	(2670)	徳 島
〃	〃	〃	〃	一 健	(2700)	大 牟 田
〃	〃	〃	〃	一 健	(2740)	佐 世 保 南
〃	〃	〃	〃	一 健	(2720)	熊 本
監 事	〃	〃	〃	一 健	(2750)	東 京 日 本 橋
〃	〃	〃	〃	一 健	(2660)	大 阪 住 吉
〃	〃	〃	〃	一 健	(2710)	広 島

参考資料

☆ クラブ米山奨学金制度 (C Y)	1
☆ 地区米山奨学金制度 (D i s Y)	2
☆ 特別米山奨学金制度 (S Y - 1)	4
☆ 特別米山奨学金制度 (S Y - O B)	5
☆ 特別米山奨学金制度 (S Y - J)	6
☆ 米山カレンダー	7
☆ 理事の役割	9
☆ 地区米山奨学委員長の役割	1 0
☆ 地区米山奨学生生活動費、選考試験補助費 および地区委員長事務補助費について	1 1
☆ 送金カレンダー	1 4
☆ 寄付金について	1 6
☆ 表彰制度	1 7
☆ 寄付に関する事項	1 9
☆ 1 9 9 7 年度専門委員	2 0
☆ 1 9 9 8 学年度奨学生募集要項 大学院生・学部生	
☆ 1 9 9 8 学年度地区米山奨学生 募集要項	

クラブ米山奨学金制度 (CY奨学金)

米山奨学金には、在籍大学の課程に従って種々の区別があり、同一人はただ一種類の奨学金しか受けることができません（本奨学金の非重複性）。しかし時には、博士号取得を目前に控え、奨学金を打切るには忍びないような学生がおります。その学生の世話クラブが、奨学金の半額を負担しても奨学したいと強く希望される場合、残りの半額を米山奨学会が負担し奨学する制度が、クラブ米山奨学金（CY奨学金）制度です。学生本人が強く希望したとしてもそれだけでは申込みすることができません。

この奨学金をCY奨学金と名付けるのは、これを発動するのは世話クラブで、それを支援するのが米山奨学会であるからです。従ってCY奨学金の申込書は、クラブから依頼があった場合にお送りし、当会から申込みの有無に関する照会はいたしません。

クラブ米山奨学生として申込みを決定した時点で、本人にそれを伝え、もし本人が他の奨学金および研究助成金の申込みをしていた場合は、申込みを取り下げるようご指導下さい。

CY用特別寄付金は6カ月分（45万円）、1年分（90万円）です。

CY用特別寄付金は、クラブの特別寄付、または個人名義の寄付として累積計上されます。

なお、CY奨学生は奨学期間内に博士号を取得することが条件とされます。

しかし、ここ数年の結果をみますと、期間内に博士号を取得した者は半数以下でありました。このためにも、クラブでは指導教官とも連絡を深め、学業上の成果およびCY奨学期間内に学位取得の見込みがあることを面談のうえ確認し、お申込み下さい。

応募資格	現在奨学金を受給中の者で、奨学期間終了後1年以内に博士号取得を完遂できる勤勉さと実力のある者
奨学金	月額15万円 当会より世話クラブへ奨学期間分を一括送金、奨学生にはクラブより1カ月毎に分割支給
待遇・責任	米山奨学生に準ずる
奨学期間	6カ月または1年（申込みは年2度） （Y奨学期間とCY奨学期間は継続しなければならず、両期間を合算して最長3年まで）
申込受付期間	1998年2月2日～2月10日 1998年8月1日～8月15日 2月の受付は1998年3月に、8月の受付は1998年9月に、大学院博士（後期）課程3年、医・歯・獣医学系博士課程4年で奨学期間を終了する者に限る。 （CY用特別寄付金を合格後、8月申込者については9月15日、2月申込者については3月末までに送金）
採否の決定	学務委員会および常務理事会で決定
成果の報告	期間終了にあたって、学位取得の有無について報告 （発足：1981学年度）

地区米山奨学金制度

(DisY奨学金)

1998学年度

地区米山奨学金 (DisY奨学金) は、次の2種類とする。

1. DisY-A ロータリー所在国から来日し、1998年4月から日本の短期大学・高等専門学校ならびに同専攻科・専修学校専門課程に在籍する者。あるいは、1998年3月25日までに合格見込者。
2. DisY-B 以前にロータリークラブが存在していた国から修学または学術研究のため 在留資格「留学: College Student」で来日し、1998年4月から次の課程学年に在籍する者。あるいは、1998年3月25日までに合格見込者
 - ・大学院修士課程1年目・2年目
 - ・大学院博士課程2年目・3年目
 - ・大学院医・歯・獣医学系博士課程3年目・4年目

この奨学生の最終確認および決定は常務理事会の審議を経る必要がある。

割当人数 DisY-A 該当者がいる場合は、各地区の割当数の枠内で1名採用することができる。該当者のいない場合、Y奨学生分とする。

DisY-B 各地区の当該年度奨学生割当数の15%以内とし、小数点以下は切上げ可。
なお、DisY-B継続者は、この15%の枠外とする。

(特例: Y奨学生が欠員して補欠がなく地区割当数に余分が生じたときに限り、その余剰分をその地区のDisY-Bの補欠者に、3名を限度として合格させることも可。ただし全国的にみてDisY-Bの割当枠15%を著しく越えるような結果を招くことは好ましくないので、最終決定は常務理事会に一任する。)

各地区割当数の中で採用する。

奨学 金 DisY-A 月額12万円

DisY-B 月額15万円

待遇・責任 Y奨学生に準ずる。

奨学期間 2年以内 (Y奨学生に準ずる)

応募資格

1. DisY-A 日本の短期大学・高等専門学校ならびに同専攻科・専修学校専門課程に在籍する者。あるいは、1998年3月25日までに合格見込者。
2. DisY-B 以前にロータリークラブが存在していた国からの留学生で、1998年4月から次の課程学年に在籍する者。
 - ・大学院修士課程1年目・2年目（1998年3月25日までに合格見込者）
 - ・大学院博士課程2・3年目
 - ・大学院医・歯・獣医学系博士課程3・4年目

* 以前にロータリークラブが存在していた国
アフガニスタン・イスラム国、アラブ首長国連邦、中華人民共和国、キューバ共和国、イラク共和国、イラン・イスラム共和国、ラオス人民民主共和国、リベリア共和国、社会主義人民リビア・アラブ国、ミャンマー連邦（ビルマ）、シリア・アラブ共和国、ソマリア民主共和国、旧ソ連の一部（アゼルバイジャン共和国、ウズベキスタン共和国、キルギス共和国、グルジア共和国、タジキスタン共和国、トルクメニスタン、モルドバ共和国）、ベトナム社会主義共和国、イエメン共和国、旧ユーゴスラビア（セルビア・マケドニアを除く）

採用時期 各地区ガバナーは2月16日までに、理事と連名でDisY奨学生採用候補者名を米山事務局に通知する。常務理事会の審議の結果発表は、4月初旬までに行う。

注 : DisY-A, DisY-Bともに地区内に所在する学校に限る。
その他の応募資格については、募集要項を参照のこと。

（発足：DisY-A 1984学年度、 DisY-B 1989学年度）

特別米山奨学金制度

(SY-1奨学金)

ロータリークラブのある（あるいは以前にロータリークラブが所在していた）発展途上国から来日する短期研修生で、日本国内における受入団体、指導者および研修プログラム等が決まっており、短期間の研修後帰国し、母国の発展に寄与しうる者に対する奨学金。対象となる受入団体及び各団体への割当人数は、常務理事会及び理事会で定め、採用決定は常務理事会に於て行われる。

申込受付期間	1998年3月2日～3月10日
採用人数	15名程度
奨学金	月額 12万円
待遇・責任	米山奨学生に準ずる
奨学期間	1年以内
受入団体	アジア学院とPHD協会

(発足：1987学年度)

特別米山奨学金制度

(SY(OB部門)奨学金)

1998年度募集からSY-S(シニア)奨学金と名称を変更予定。

第4期実施期間 : 1996年7月から3年間

日本で博士の学位を取得した50才未満の元米山奨学生(帰国後5年以上を経過した者)を対象とした、短期の日本再留学のための奨学金である。日本国内における研修プログラム、および受入責任者・受入団体・研究室等がすでに決まっており、短期間の研修後帰国し、母国の発展に寄与しうる者に対して奨学する。

奨学金 月額 22万円

この奨学金は毎月世話クラブに送金し、クラブの例会で支給する。
来日が奨学開始月の20日を過ぎた場合、および離日が月の10日以前の場合は、奨学金の半額の11万円を支給する。

奨学期間 2カ月以上、6カ月以内

各年7月にはじまり、翌年6月迄の間で奨学期間を決める。

採用決定時に決まった奨学期間の変更は、原則として認めない。

受入研究機関の条件

1. 研究者(奨学生)の身元保証人になる者があること。
2. 研究者(奨学生)の国籍によっては、日本入国のために本邦の入国管理局での事前審査が必要となる。この手続きを本人に代わって受入研究機関が行うこと。

採用人数 10名程度

申込受付期間

毎年1月8日～1月末日

採否の決定 当会の学務委員会および常務理事会において書類審査を行い、採否を決定する。

待遇 補助金: 学会・研修・見学のための旅行補助として5万円を支給する。

その他、渡航費・医療補助費等は一切支給しない。

研究成果の報告

- 1 帰国に際して、滞在中の報告書を、世話クラブを通して当会に提出すること。
- 2 母国就職機関に提出した報告書のコピー1部を、帰国後1カ月以内に当会へ提出すること。

(発足: 1987年7月)

特別米山奨学金制度

(SY-J 日本研究上級研究員奨学金)

1997年度 2650地区試行

外国の大学、研究機関において日本研究に従事している常勤の上級研究者で日本に関する研究活動を行なおうとする者を6カ月～1年間招へいする。我が国の大学等学術研究機関において、受入研究者と共に研究に従事することにより、外国人研究者の研究の進展を援助するとともに、世話ロータリークラブと接触することによってロータリーの理想とする国際理解と親善に寄与することを目的とする。

§ 支給経費

1. 奨学金 25万円(月額) 他、渡航費など

§ 対象者

- ・ 45才未満の日本研究をする若手上級研究員(博士号取得者)
- ・ Cultural Activities(文化活動)のVisaで来日可能な者。
- ・ 関連専門分野において教育・研究者としての経験を積み実績をあげている者。
- ・ 日本語の習得を目的とする者、大学院生、申込内容と直接関連する職業経験を有さない者は対象としない。
- ・ 以前から連絡のある日本人研究者の所属研究機関で研究を行い、研究後帰国して、母国における日本研究の発展に寄与しうる者。

§ 研究テーマ

文学・史学・芸術等に関する日本研究

§ 招へい期間

6カ月～12カ月

§ 支給

この奨学金は毎月世話クラブに送金し、クラブ例会で支給する。

来日が奨学開始月の20日を過ぎた場合、および離日が月の10日以前の場合は、奨学金の半額を支給する。

§ 採否の決定

研究員の受入れを希望する日本側研究者から申込み(指定の申込書)を受けて、当会の学務委員会、常務理事会で審査決定する。

§ 補助金

学会、研修、見学のための旅行補助として5万円を支給する。

§ 申込受付期間

1998年1月8日～1998年2月28日

米山カレンダー

(自1997年7月1日～至1998年6月30日)

年 月 日 (曜)	各地区、ガバナー・理事・評議員・米山奨学委員会 実施事項	米山奨学会、事務局実施事項
'97年 7月10日 (木) 迄に	ガバナーは理事と相談の上、次に関する 1998年度の地区の方針を決め、当会 に通知する DisY-A奨学金：採用の有無 (公募ではない) DisY-B奨学金：指定校(研究科等)の有無 ・指定校のない場合も、書 ・募集要項および申込書 の送付先(大学名、研 究科等)を設 ける場合の大学名(研 究科等)および大学推 薦の有無	
7月15日 (火) 頃		ガバナー事務所宛に送金 ・1997年度地区米山奨学生活動 費
8月1日 (金) ～ 8月15日 (金)		CY奨学金申込受付('97年9月 奨学期間終了者)
7月22日 (火) ～ 9月10日 (水)		・YおよびDisY-B奨学生の募集 要項・申込書を大学と各地区 ガバナー事務所へ送付し、関 (DisY-B奨学生の募集に 指定校および大学推薦する 場合、当会より依頼する。募集 要項・申込書を送付する。募集 要項のみ送付)
8月26日 (火)		理事会・評議員会 ガバナーノミニー研修会
9月5日 (金)		地区米山奨学委員長会合
9月下旬		全ロータリークラブに事業報告 書を送付 (5部)
10月1日 (水) ～31日 (金)	米山月間	
10月1日 (水) ～7日 (火)		1998学年度米山奨学金申込 受付 (10月7日消印有効)
10月8日 (水) ～		申込書を地区別に分類する
11月25日 (火) 迄に	選考委員につき地区担当理事とガバナーは 協議し、ガバナーより選考委員を委嘱	申込書のコピーをガバナー事務 所に送付
11月下旬		1998学年度選考試験補助費 送金 (ガバナー事務所宛)
12月1日 (月)	理事は理事会終了後、ガバナー・米山奨学 委員は理事と理事会終了後、ガバナー・米山奨学 委員を打ち合わせ、米山奨学 委員会事務所の職員を指導する	理事会・地区奨学生割当人数の決定 ・選考方法の打ち合わせ
12月5日 (金)	選考委員名を当会に通知する 選考委員に応募者の申込書コピーを送付	大学に申込者一覧表送付
12月初旬	応募者多数の場合、日本語・日本文の筆記 試験を行う 試験の日時・場所を当会に通知する	
12月16日 (火) ～ 12月20日 (土)	YおよびDisY奨学生の資格審査・書類 審査結果ならびに面接の会場・日時を、た だちに当会に通知する	地区協議会に米山奨学部門を設 けて下さるようガバナーおよび ガバナーノミニーに依頼
'98年1月8日 (木) ～1月末日		SY-S奨学金申込受付
1月8日 (木) ～2月末日		SY-J奨学金申込受付
1月12日 (月) 迄に	1. 第一次試験の結果通知を応募者に発送 ・無資格者に無資格通知 ・第一次試験不合格者に不合格通知 2. 選考委員に試験の日時、場所を通知する	
1月23日 (金) 迄に必着	歓送会に関する件につき、当会に通知する	

年 月 日 (曜)	各地区、ガバナー・理事・評議員・米山 奨学委員会 実 施 事 項	米山奨学会、事務局実施事項
'98年 2月初旬		地区協議会用の委員会資料 (1 クラブ3部) ガバナーノミニー 事務所に送付
2月1日 (日) ~ 11日 (水)	YおよびDisY奨学生の選考試験実施	
2月2日 (月) ~ 10日 (火)		CY奨学金申込受付
2月16日 (月) 迄に必着	YおよびDisY合格者と補欠 (各10名 以内) を当会に通知	
2月17日 (火) ~ 2月27日 (金)		合格者の資格チェックおよび内 定・不合格通知発送
2月末 ~ 3月中	奨学期間終了者の歓送会	
3月2日 (月) ~ 10日 (火)		SY-1奨学金申込受付
3月初旬		大学・他奨学団体に当会合格内 定者を知らせる
3月13日 (金) 頃		国費合格者と照合し、当会内定 者からはずす
3月19日 (木) 頃		・常務理事会で合格者の決定 ・各地区ガバナー事務所と理事 に合格者を通知
3月27日 (金) 迄に必着	オリエンテーション (開催日時、会場、書 類送付先等) と、4・5月分奨学金の支給 方法を当会に通知	
4月6日 (月) 迄に		合格通知発送 大学・他奨学団 体に当会奨学生を知らせる
4月20日 (月) 迄に	新規奨学生の世話クラブを当会に通知 カウンセラーが既に決定している地区は カウンセラー名も当会に通知する	
4月20日 (月)	辞退者・他奨学金合格者があった場合の補欠繰り上げ期限 (これより後辞退者が出た場合は欠員とする)	
4月28日 (火) 迄に		世話クラブに依頼状送付 CY奨学金を世話クラブへ送金
5月7日 (木) 迄に	4月20日迄にカウンセラーが決まらなかつ た世話クラブはカウンセラーを決定 当会ならびにガバナー・理事・地区米山奨 学米山委員長に通知 オリエンテーション開催通知発送 ・新規奨学生とそのカウンセラーおよび説 明者など	オリエンテーション用書類の発 送
5月15日 (金) 迄に		カウンセラーへの委嘱状送付
5月16日 (土) ~ 5月末迄に	新規奨学生のオリエンテーション実施 4、5月分の奨学金はオリエンテーション の時に支給。あるいはオリエンテーション 後、世話クラブで支給	4、5月分奨学金 地区指定代表者宛一括または、 世話クラブ宛送金
	地区協議会において米山事業の説明	
6月初旬		世話クラブに送金1998学年度分 ・奨学生の研修旅行補助費 ・世話クラブ補助費およびカウ ンセラー活動費
6月10日 (水) 迄に	地区米山奨学生生活動費の報告を当会に提出	
6月24日 (水) 頃		理事会・評議員会

送金についての詳細は送金カレンダー参照
(議事録および事業報告書)

理事の役割

米山奨学会から各地区への連絡は、理事宛とします。理事の方々には、地区ガバナー（当会評議員）の了解と地区米山奨学委員会の協力を得て、米山奨学生と世話クラブ、そして担当地区全体の米山に関する諸事項の指導をお願いします。

- * 募集事務：DisY奨学金についてガバナーと相談のうえ、ガバナー事務所より米山奨学会へ以下の件を連絡するよう指導。
 - ・ DisY-A奨学生の採用予定の有無
 - ・ DisY-B奨学金の指定校（研究科等）の有無、大学推薦の有無および推薦人数、募集要項・申込書の送付先大学名と送付部数。

募集要項および申込書は、米山奨学会から各大学へ送付。

- * 選考試験：選考委員の選定
選考方法の決定
選考試験の実施
奨学会への事務連絡等

- * 米山奨学生とカウンセラーのオリエンテーションの徹底：
オリエンテーションは地区単位で実施。
理事が“オリエンテーションの手びき”に基づいて米山の制度をよく説明し、奨学期間中、種々の問題が起こらないようにする。

- * カウンセラーの指導：
オリエンテーション以外にカウンセラーの会合をもち、当会から送付する奨学生の報告書等を参考に、地区内の奨学生の問題を話し合い、奨学生の向上をはかる。

- * 広報：米山月間に限らず、ガバナー、評議員、米山奨学委員の協力のもとに、米山奨学事業のPRをはかる。

- * 当会から、地区米山奨学生活動費として奨学生1名につき、年額5万円を補助する。補助費は、奨学生にとって意義ある活動（オリエンテーション、歓送会、懇親会（研修旅行・見学会）等）を目的とした行事の費用に当てる。毎年7月に地区ガバナー宛に送金する。

なお、この他申込者数に応じ、規定の選考補助費を11月中旬に、地区ガバナー宛に送金する。使途については、選考委員の交通費、試験会場費、選考委員の会食費および選考事務費等である。この補助費の未使用金は、地区米山奨学生活動費に繰り入れ、活動費として使用することができる。

これらの収支決算報告書（領収書添付）を年度末の6月10日までにガバナーと連名で提出する。

地区米山奨学生活動費の未使用繰越金は、次年度活動費送金額より差し引いて送金する。

（詳細は11～13頁参照）

地区米山奨学委員長の役割

* 理事および地区ガバナーの補佐役として、次の諸事項にご協力下さい。

- ・ 米山奨学事業のPR
- ・ 寄付の推進
- ・ 奨学生選考試験
- ・ 米山月間に限らず、地区の米山に関する行事の実施
(オリエンテーション、歓送会、その他奨学生の集い、クラブ米山奨学委員長の会合等)
- ・ 米山奨学生報告書のコピーを送りますから目を通して、急ぎ対処しなければならないことがあれば、米山奨学会へ連絡するか、クラブのカウンセラー経由で奨学生をご指導下さい。

◆ 米山奨学会より地区米山奨学委員長へ送付されるもの

- 1) 米山奨学生選考試験ファイル
 米山カレンダー
 選考マニュアル
 米山奨学会への連絡事項 など
- 2) 米山奨学生名簿
- 3) 米山奨学生一覧表
- 4) 寄付納入明細表(9月末、12月末、3月末、6月末現在)
 寄付金納入明細総合表
 寄付金納入明細書(クラブ別)
- 5) 特別寄付報告書(毎月、クラブ別明細)
- 6) ロータリー米山奨学生報告(1997年6月、12月)
- 7) 1996(平成8)年度 事業報告書

◆ 米山奨学会より送付される資金(事業報告書の送金カレンダー参照)

- ・ ガバナー事務所宛：地区米山奨学生活動費
 選考試験補助費
 地区協議会補助費
 地区委員長事務補助費
- ・ 世話クラブ宛：奨学金
 課外補助金(学会・研修・見学を目的とした
 旅行費の補助)
 医療補助費
 世話クラブ補助費
 カウンセラー活動費
- ・ 学友会宛：活動補助費
 学友会総会出席者補助費
 リクリエーション出席者補助費
 会報補助費

地区米山奨学生活動費、選考試験補助費

および地区委員長事務補助費について

当会から各地区ガバナー事務所に送金する補助費は、地区米山奨学生活動費、選考試験補助費および地区委員長事務補助費である。

I 地区米山奨学生活動費

奨学生1名につき、年額5万円を補助し、奨学生にとって意義ある活動に使っていただくことを目的とした補助金。

理事とガバナーが協議し、使途を決定する。

使途目的（例）

- （1）奨学期間を終了する学生のための歓送会等費用
（会場費、飲食代等）
- （2）新しい奨学生のために行われるオリエンテーション等の費用
（会場費、茶菓代等）
- （3）日頃勉学に追われている奨学生同志の親睦を兼ねた集い等の費用
- （4）日本を知ってもらう目的と親睦を兼ねた小旅行・見学費用等

以上のような奨学生、学友等が直接参加する行事、会合の経費補助としてこの活動費は使用していただくことが目的である。ただし、これらの会合に参加されるロータリアンの費用（交通費等）は、地区によって多少支弁されても差し支えない。

送金時期：7月中旬

II 選考試験補助費

選考試験補助費は、次のイ、ロ、ハ等に充当する。

イ．選考委員の交通費

ロ．試験会場費および選考委員の会食費

ハ．選考事務費（コピー代、郵送料、人件費等）

申込者	1名以上10名まで	@10,000×申込数
	11名以上30名まで	@9,000×(申込数-10名)+(10,000×10名)
	31名以上60名まで	@8,000×(申込数-30名) +(9,000×20名)+(10,000×10名)
	61名以上100名まで	@7,000×(申込数-60名) +(8,000×30名)+(9,000×20名) +(10,000×10名)
	101名以上150名まで	@6,000×(申込数-100名) +(7,000×40名)+(8,000×30名) +(9,000×20名)+(10,000×10名)
	151名以上	@5,000×(申込数-150名) +(6,000×50名)+(7,000×40名) +(8,000×30名)+(9,000×20名) +(10,000×10名)

上記申込数は、次の者の合計数とする。

1. Y奨学生申込数
2. Dis Y-Aの申込数
3. Dis Y-Bの申込数
4. 無資格者数

送金時期：11月中旬

Ⅲ 地区委員長事務補助費

各ロータリークラブが寄付金の管理が出来るよう地区米山委員長の資料作成費および通信費に対する事務補助費。

使途目的

1. 当会より送付する特別寄付金報告（月報）を、寄付金のあったクラブへコピーして送付するためのコピー代。
2. 1. のコピーを各クラブへ送付するための発送費。

送金時期：7月

◎送 金 先：各地区ガバナー事務所に、一般地区会計との混同を避けるため、特別会計を設けていただき、地区米山奨学生生活動費、試験補助費および地区委員長事務補助費をその口座に振り込む。

◎収支報告書：年度内に使用した地区米山奨学生生活動費、選考試験補助費および地区委員長事務補助費の収支報告は、別々に作成し理事を通して、ガバナーが毎年6月10日までに収支決算報告書として、関係書類（領収書等）添付の上、当会へ報告願う。

◎試験補助費および地区委員長事務補助費の未使用繰越金は地区米山奨学生生活動費に繰入れ活動費として使用いただく。

◎地区米山奨学生生活動費の未使用繰越金は次年度地区米山奨学生生活動費送金額より差引いて送金する。

送金カレンダー

科 目	送 金 金 額	備 考	送金時期	送 金 先
奨 学 金	YMD (大学院生) 奨学金： 月額 150,000円 YU (学部生) 奨学金： 月額 120,000円 CY (クラブ米山) 奨学金： 月額 150,000円 DisY-A 奨学金： 月額 120,000円 DisY-B 奨学金： 月額 150,000円 SY-1 奨学金： 月額 120,000円 SY-OB 部門奨学金 ('98学 年度より SY-S)： 月額 220,000円 SY-J (日本研究上級 研究員) 奨学金： 月額 250,000円	前月の20日頃送金 半年分あるいは1年分 を一括して送金 前月の20日頃送金	毎 月 4月下旬 9月下旬 毎 月	世話クラブ 世話クラブ 世話クラブ
課 外 補 助 金	奨学生1名当り 年額 50,000円	奨学生の学会・研修・ 見学を目的とした旅行 費の補助金 その他、補助金を活用 して少しでも日本を知 っていただくことが目 的	6 月	世話クラブ
世 話 ク ラ ブ 補 助 費	奨学生1名当り 年額 30,000円	奨学生を例会、会合等 に招待いただく諸費用 のクラブへの補助金	6 月	世話クラブ
カ ウ ン セ ラ ー 活 動 費	奨学生1名当り 年額 20,000円	奨学生との交際等、補 助費としてカウンセラ ーへの補助金 (奨学生 に渡してはならない)	6 月	世話クラブ

科 目	送 金 金 額	備 考	送金時期	送 金 先
地区米山奨学生 活 動 費	奨学生 1 名当り 年額 50,000円	奨学生を中心とした懇 親の集い, 歓送会, オリ エンテーション等の諸 費用	7 月	ガバナー 事 務 所
選考試験補助費	選考事務補助費		11月末	ガバナー 事 務 所
地 区 協 議 会 補 助 費	米山部門 部屋代 } 実費 食事代 }	食事代はロータリーの 例会昼食費程度	申 請 後	ガバナー 事 務 所
医 療 補 助 費	国民健康保健および日本国際 教育会で支払われた残額を補 助 (全体の6%)		申 請 後 翌 月	世話クラブ
学 友 会 補 助 費	○各学友会に年間20万円 ○学友会に出席する学友に若 干の補助費 ○若干の会報補助費			各学友会宛
地 区 委 員 長 事 務 補 助 費	○前年度実績により算出した 金額	地区委員長は特別寄付 金報告書(月報)のコ ピーを寄付金のあった クラブへ報告し、各ク ラブが独自に寄付金の 管理が出来るようにす るための資料作成費及 び通信費等の補助金	7 月	ガバナー 事 務 所

※ 費用請求の際、振込銀行・口座番号・口座名を明記のこと。

寄 付 金 に つ い て

1 普通寄付金（振込用紙：茶色）

会員1人につき、年額千円以上の定額で寄付されます。年額の半額を7月1日、1月1日現在の会員数に応じて、半期毎に送金されます。

2 特別寄付金（振込用紙：朱色）

個人、法人、またはクラブとして普通寄付以外に寄付されるものです。

送 金 先：さくら銀行京橋支店 （普）0920373

（財）ロータリー米山記念奨学会

※ 他クラブへの移籍について

他クラブへ移籍した場合、資格は新クラブ移籍後も継続、寄付額の実績は旧クラブの実績として残ります。

※ 普通寄付金は、寄付行為の規定によって当会を援助する全ロータリークラブ会員から定期的に受領するものと定められており、当奨学事業運営の安定財源ともなっているため、定額を減額されることなく寄付されるものです。

なお、増額される場合は、年額1人1口500円として計算下さい。

表 彰 制 度

個人、クラブまたは法人の特別寄付に対して、次のような表彰制度があります。

1. 米山ファンドフェロー

個人の特別寄付金の累計額が15万円に達したとき、または1度に15万円もしくは30万円未満の特別寄付をされたとき、米山ファンドフェローとして感謝状（表彰ケース付）が贈られます。

米山ファンドフェローの表彰は1回だけです。

2. 準米山功労者

個人として第1回の特別寄付金3万円以上を納め、あと30万円に達するまで引き続き寄付する意思表示をされた方は、準米山功労者として登録されます。

準米山功労者の特別寄付金の累計額が15万円に達したとき、自動的に米山ファンドフェローとして感謝状（表彰ケース付）が贈られます。

3. 米山功労者

個人の特別寄付金の累計額が30万円に達したとき、または1度に30万円もしくはそれ以上の特別寄付をされたとき、米山功労者としてメダルと楯が贈られます。メダル・楯の贈呈は第1回目の功労者に贈られ、第2回目からは感謝状（表彰ケース付）、第3回目からは、回数ごとに感謝状が贈られます。

米山ファンドフェローの特別寄付金が30万円に達したときも、同様に米山功労者となります。米山功労者の地区大会での表彰は何回でも行われます。

4. 準米山功労法人

法人として第1回の特別寄付金5万円を納め、あと累計額が35万円に達するまで5万円単位で引き続き寄付をする意思表示をされた法人は、準米山功労法人として登録されます。

5. 米山功労法人

法人が所定の申込書により35万円の特別寄付をされたとき、米山功労法人として感謝状が贈られます。この場合、個人と重複しての米山功労者の表彰はありません。

6. 米山特別功労法人

法人からの特別寄付累計額が105万円に達したとき、または1度に100万円もしくはそれ以上の特別寄付をされたときに、米山特別功労法人として表彰され、地区大会で表彰の楯が贈られます。表彰の楯の贈呈は、1度に100万円または35万円を3回で105万円に達したとき、何回でも行われます。

7. 米山功労クラブ

クラブの特別寄付金の累計額が100万円に達したとき、米山功労クラブとして感謝状（表彰ケース付）が贈られ、地区大会で表彰されます。

クラブの特別寄付金額には、個人の特別寄付金も集計されます。

第2回目からは、100万円ごとに感謝状が贈られます。

8. 1千万、2千万、3千万円達成クラブ

普通寄付金と特別寄付金を合計した累計額が、1,000万円、2,000万円または3,000万円に達したときは、それぞれ「1,000万円達成クラブ」「2,000万円達成クラブ」または「3,000万円達成クラブ」として、感謝状（額付）が贈られます。

以後、1,000万円増額達成ごとに同様に表彰されます。

寄付に関する事項

寄 付 に 関 す る 事 項		送 付 先
寄付金納入明細表 ・ 寄付金納入明細総合表 ・ 地区別寄付金納入明細表	四半期（９月・１２月・３月・６月）ごとに左記明細表を作成。 ・ 上記寄付金納入明細総合表と当該地区寄付金納入明細表を印刷の都合上１０月・２月・４月・８月頃に送付。 ・ 各クラブは上記明細表を保管し、その後の寄付額を管理していただく。	・ 全ロータリークラブ ・ ガバナー ・ 理事・監事・評議員 ・ 地区米山奨学委員
月報（地区別、特別寄付報告書）	毎月左記報告書を作成し、送付。 ・ 各地区の地区米山奨学委員長は、四半期ごとに送付する寄付金納入明細表とこの月報を保管し、地区内クラブの寄付額等を管理していただく。月報のコピーは各クラブに送付して各クラブで寄付金の管理が出来るよう指導をいただく。	・ ガバナー ・ 理 事 ・ 地区米山奨学委員長
領 収 証 ・ 特別寄付金クラブ宛領収証 ・ 免税に関する領収証	・ 普通寄付の領収証は発行しない。 ・ 特別寄付については、クラブ宛個人明細を入れた領収証のみ発行する。 ・ 免税用の領収証は年間（１月１日～１２月３１日）の特別寄付合計額が３万円以上に対し発行する。 ・ 送付時期 翌年の２月初旬に送付。 法人用領収証は、指定期日迄に送付するが、特別指定のない場合には事務処理後、約１カ月後に送付。	・ ロータリークラブ ・ 個人及び法人の領収証はいずれもクラブを通して送付

専門委員

(1997年9月1日～1998年8月31日)

(敬称略)

財 務： * 増田房二， 山川久明， 林 徹， 山内悦嗣，
(京都山科) (旭川) (東京) (東京)

近藤正春， 谷内宏文， 松本卓臣
(東京目黒) (東京日本橋) (福山)

学 務： * 高野孫左エ門， 宮崎幸雄， 雨宮眞也， 北村 博，
(甲府) (東京) (東京世田谷) (東京目黒)

近藤正春， 左右田健次， 菅生浩三
(東京目黒) (京都東) (大阪北)

学 友： * 守屋 清， 井上信弥， 伊藤昭治， 田中 徹，
(倉敷) (東京江北) (東京世田谷南) (半田)

宇野豊三， 神木 董， 梶原景親
(京都東) (加古川) (福岡西)

広 報： * 増田房二， 深澤豊吉， 田中作次， 谷口 榮，
(京都山科) (足利) (八潮) (横浜東)

河合利周， 本田 茂， 松田尊文
(名古屋北) (京都北) (福岡東)

* 印 各委員会担当理事

財団法人ロータリー米山記念奨学会
1998 (平成10) 年度米山奨学生募集要項

I 応募資格

1. 国籍とビザ

日本以外の国籍を有し、ロータリー・クラブの所在する国、または地域から来日し勉強または研究のため在留資格「**留学**: College Student」で在日している者および来日予定の者。

日本の大学に在学中で「**難民**: Refugee」の認定を法務大臣から受けた者。

2. 在日する親・配偶者の所得制限

応募者の親・配偶者が外国籍で在日し収入の伴う在留資格を有し、年間所得が400万円を超える場合、あるいは、配偶者の奨学金が年額400万円を超える場合は、応募資格がない。収入の伴う在留資格を有し、年間所得が400万円以下の場合、該当者の納税証明書(1996年度分・市区町村の役所発行)あるいは、源泉徴収票(1996年度分・雇用主発行)を提出すること。なお、親・配偶者が日本国籍を有し、在日する場合も同様。未提出の場合、無資格とする。

<在留資格について>

収入の伴うもの : 外交、公用、教授、技術、投資経営、企業内転勤、国際業務、医療、教育、芸術など

収入の伴わないもの : 留学、文化活動、短期滞在、就学、家族滞在など

3. 在籍大学

1998年4月から日本の国内に所在する大学院:

入学時から起算して修士課程1年目、2年目

〃 博士課程2年目、3年目

〃 医・歯・獣医学系博士課程3年目、4年目

(Ⅱ. 1. 奨学金の欄を参照)

} 在籍者

修士課程進学予定者は、申込書に記入した大学院修士課程・研究科・専攻に合格を条件とする。

4. 性格・能力・健康

優秀な学力を持ち、心身ともに留学生活に耐えうる健全な者。

5. 博士号

いずれの国においても、博士号を取得している者には応募資格はない。

6. 年 齢

1958年4月1日以降に生れた者(40歳未満の者)。

7. 他の機関の奨学金との併給

当会からの奨学金は、他の機関からの奨学金と同時に受けることはできない。他の機関にも奨学金を申込み、結果として当会および他の機関からの奨学金の支給の内定(合格)を受けた場合は、支給の決定を1つの奨学金に絞り、どちらを受けるかを当会に通知する。この指

示に従わず、他の機関からの奨学金と同時に当会の奨学金を受けた場合は、支給された奨学金（重複期間）の金額を返済しなければならない。

ただし、地方自治体による学習奨励金（在住の留学生全員が受給の対象）、および学術上の貢献（論文）に対する一時的な褒賞金は奨学金とはみなさない。

8. 本奨学金の非重複性

かつて米山奨学金を受領したことのある者は、応募資格がない。

Ⅱ 奨学金と補助金

1. 奨学金

YMD（大学院）奨学金（Yoneyama Master and Doctor Course Scholarship）

対象者：1998年4月から大学院修士課程1年目、2年目に在籍する者、および大学院博士課程2年目、3年目に在籍する者と医・歯・獣医学系博士課程3年目、4年目に在籍する者。

（この学年は入学時から起算した学年である）

応募資格のない人

- ・1998年4月から博士課程1年目
 - 〃 医・歯・獣医学系博士課程1年目、2年目 } 在籍者
- （この学年は入学時から起算した学年である）
- ・入学時から起算して、博士課程の4年目に入る者、医・歯・獣医学系博士課程の5年目に入る者。

募集範囲：全国適用

奨学金：月額15万円

奨学期間：2年を限度とし課程終了までの2年間は継続支給する。

ただし修士課程2年目、博士課程3年目、医・歯・獣医学系博士課程4年目で採用された者に対する支給は1年間。

2. 補助金

(A) 学会・研修・見学のための研修旅行補助費：年5万円

(B) 医療費補助（当会の規定による）

Ⅲ 応募に必要な提出書類と手続

1. 申込書 大学院生：水色（所定用紙に本人が自筆で完全に記入したもの）

2. 居住地の市区町村役所で発行される、本人および在日する親・配偶者の外国人登録済証明書
本人（国籍、在留資格：留学、および在留期間明記の証明書、在留期間が1997年9月30日以前に切れているものは無効） 在日する親・配偶者（国籍、在留資格明記の証明書）

3. 親・配偶者が在日し、その年間所得が400万円以下であるものは、年間所得を証明する以下のいずれかを提出する。親・配偶者が日本国籍で在日する場合も同様。

提出書類：納税証明書（1996年度分・市区町村の役所発行）あるいは
源泉徴収票（1996年度分・雇用主発行）

未提出の場合、無資格とする。

4. 在学証明書（入学年月日記入のもの）
5. 修士課程進学予定の者は、修士課程合格通知の写し（申込みの時点で入手不可能な場合は、その理由を書きそえ、入手次第、遅くとも **3月25日までに書留で送付すること。**）
申込書に本人が記入した修士課程・研究科・専攻に不合格になった者は、ただちに当会へ連絡すること。
6. 学業成績表
 - a. 母国における最終校の成績表
 - b. 現課程の成績表（入手不可能な場合は、その理由を明記）
 } 両方を提出すること。
 } コピー可。
7. 指導教官の推薦状（所定用紙を使用し、厳封のこと）
8. 6カ月以内の健康診断書。ただし、レントゲン所見は1年以内のものまで可。（所定用紙使用のこと。）
9. 写真2枚（6カ月以内に撮影のもの。上半身正面像5cm×3.5cm。カラー写真を使用しないこと。）1枚は所定の場所に貼付し、あとの1枚は裏に撮影年月日と氏名を記入の上、写真に傷がつかないように同封する。
10. 研究計画書または研究状況報告書
大学院での研究予定または現在までの研究状況について800字以内、日本語で黒インクまたは黒のボールペンを使用した自筆のものに限る。（ワープロは不可）
所定原稿用紙を使用のこと。
11. 応募者の現住所を宛名書きした定型封筒（23.5cm×12cm）3枚。（切手不要。これは面接通知と合否通知に使用する。住所に移動があった場合には、新住所を当会宛すみやかに通知すること）
12. 前記1～11に記載した申込書および添付書類を一括して、応募者本人が10月7日（消印可）までに、当会に持参するか、または**書留郵便**で送付すること。
締切り以後の書類の追加または変更を認めない。

Ⅳ 選 考

1. 書類選考 第一次選考として書類上の審査を行う。（**提出書類に不足があったり、未記入箇所のあるときおよび書類の記入について奨学会の要請を満たさないときは、減点あるいは選考の対象から除外される。**）
なお、応募者多数の場合は、日本語・日本文の理解力についての筆記試験を行うことがある。（12月初旬の予定）
2. 面接 第一次選考の合格者に対し面接を行う。原則として、1998年2月1日～11日の間に実施する。
その期日・場所は各地区で指定し、1月中旬までに各応募者に通知する。
3. 受験場所 原則として在籍大学または進学希望大学の校舎所在地で選考を行う。
4. 選考の結果
 - 1) 合格内定通知および不合格通知は2月下旬に応募者各人に書面で通知する。
合格が内定した者は、当奨学金の受給希望の有無につき、当会に回答する。
（3月15日消印まで有効）
 - 2) 正式合格発表は4月6日までに応募者各人に書面で通知する。合否に関する問い合わせには、一切答えない。

V 申込受付の場所と期間

応募者は、Ⅲの提出書類を全部とりそろえ、申込書受付期間内に、下記に持参するか、または書留郵便にて送付のこと。

1. 申込書受付場所：〒105 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館8階
財団法人 ロータリー米山記念奨学会
2. 申込書受付期間：1997年10月1日～同10月7日
(郵送の場合は、10月7日の消印のある分まで受理する。その後はいかなる書類も受付けない。)
事務所執務時間：月曜日～金曜日 9:00～16:00
3. 募集についての問い合わせ：電話(03)3435-1828
ロータリー米山記念奨学会事務所
月曜日～金曜日 9:00～16:00

提出書類は、一切返却しない。

VI 採用後の注意事項

1. 米山奨学生として採用後、以下に該当する場合、および奨学生として相応しくない行為があった場合はその月をもって奨学金の支給を打切る。
 - a. 奨学期間中に、応募資格を満たさなくなったとき。
 - b. 年間(4月から翌年3月まで)通算して2カ月以上居住地を離れ、帰省または他国に旅行するとき。ただし、研究のため必要ありと指導教官が許可した場合は、特例として最長3カ月までを認める。
 - c. 退学または在籍課程および学業目的を変更したとき。
 - d. 当会の定める規定に反したとき、ならびに規定に反した条件が発見されたとき。
2. 当会の奨学金は、毎月世話ロータリー・クラブの例会において手交される。本人の銀行口座への振込みは行わない。

財団法人ロータリー米山記念奨学会
1998 (平成10) 年度米山奨学生募集要項

I 応募資格

1. 国籍とビザ

日本以外の国籍を有し、ロータリー・クラブの所在する国、または地域から来日し勉強または研究のため在留資格「**留学** : College Student」で在日している者および来日予定の者。

日本の大学に在学中で「**難民** : Refugee」の認定を法務大臣から受けた者。

2. 在日する親・配偶者の所得制限

応募者の親・配偶者が外国籍で在日し収入の伴う在留資格を有し、年間所得が400万円を超える場合、あるいは、配偶者の奨学金が年額400万円を超える場合は、応募資格がない。収入の伴う在留資格を有し、年間所得が400万円以下の場合、該当者の納税証明書(1996年度分・市区町村の役所発行)あるいは、源泉徴収書(1996年度分・雇用主発行)を提出すること。なお、親・配偶者が日本国籍を有し、在日する場合も同様。未提出の場合、無資格とする。

<在留資格について>

収入の伴うもの : 外交、公用、教授、技術、投資経営、企業内転勤、国際業務、医療、教育、芸術など

収入の伴わないもの : 留学、文化活動、短期滞在、就学、家族滞在など

3. 在籍大学

1998年4月から日本の国内に所在する大学 :

入学時から起算して学部3年目、4年目

〃 医・歯・獣医学部5年目、6年目

} 在籍者

地域により国籍制限あり。(II. 1. 奨学金の欄を参照)

編入学予定者は、申込書に記入した大学・学部・学科に編入学が許可されることを条件とする。

4. 性格・能力・健康

優秀な学力を持ち、心身ともに留学生活に耐えうる健全な者。

5. 博士号

いずれの国においても、博士号を取得している者には応募資格はない。

6. 年 齢

1958年4月1日以降に生れた者(40歳未満の者)。

7. 他の機関の奨学金との併給

当会からの奨学金は、他の機関からの奨学金と同時に受けることはできない。他の機関にも奨学金を申込み、結果として当会および他の機関からの奨学金の支給の内定(合格)を受けた場合は、支給の決定を1つの奨学金に絞り、どちらを受けるかを当会に通知する。この指

示に従わず、他の機関からの奨学金と同時に当会の奨学金を受けた場合は、支給された奨学金（重複期間）の金額を返済しなければならない。

ただし、地方自治体による学習奨励金（在住の留学生全員が受給の対象）、および学術上の貢献（論文）に対する一時的な褒賞金は奨学金とはみなさない。

8. 本奨学金の非重複性

かつて米山奨学金を受領したことのある者は、応募資格がない。

Ⅱ 奨学金と補助金

1. 奨学金

YU（学部）奨学金（Yoneyama Undergraduate Course Scholarship）

対象者：1. 1998年4月から学部3年目、4年目に在籍する者。
2. 1998年4月から医・歯・獣医学部5年目、6年目に在籍する者。
（この学年は入学時から起算した学年である）

応募資格のない人：

・ 1998年4月から学部1年目、2年目	} 在籍者
〃 医・歯・獣医学部1年目、2年目	
〃 医・歯・獣医学部3年目、4年目	

（この学年は入学時から起算した学年である）

・ 入学時から起算して学部5年目に入る者、医・歯・獣医学部7年目に入る者。

募集範囲：全国適用

ただし、大韓民国および中華民国（台湾）国籍の者は、その大学の所在地が茨城県、東京都、神奈川県、愛知県、京都府、大和川以北の大阪府（ただし柏原市を含む）、兵庫県、福岡県の場合適用しない。

奨学金：月額12万円

奨学期間：学部3年目、医・歯・獣医学部5年目で採用された者は、学部卒業までの2年間は継続支給する。
学部4年目、あるいは医・歯・獣医学部6年目で採用された者は1年間。

2. 補助金

（A）学会・研修・見学のための研修旅行補助費：年5万円

（B）医療費補助（当会の規定による）

Ⅲ 応募に必要な提出書類と手続

1. 申込書 学部生：黄色（所定用紙に本人が自筆で完全に記入したもの）

2. 居住地の市区町村役所で発行される、本人および在日する親・配偶者の外国人登録済証明書
本人（国籍、在留資格：留学、および在留期間明記の証明書、在留期間が1997年9月30日以前に切れているものは無効） 在日する親・配偶者（国籍、在留資格明記の証明書）

3. 親・配偶者が在日し、その年間所得が400万円以下であるものは、年間所得を証明する以下のいずれかを提出する。親・配偶者が日本国籍で在日する場合も同様。

提出書類：納税証明書（1996年度分・市区町村の役所発行）あるいは
源泉徴収票（1996年度分・雇用主発行）

未提出の場合、無資格とする。

- 在学証明書（入学年月日記入のもの）
- 学部課程3年または4年に編入学予定者は、編入学許可通知の写し（申込みの時点で入手不可能な場合は、その理由を書きそえ、入手次第、遅くとも3月25日までに書留で送付すること。）申込書に本人が記入した学部・学科に不合格になった者は、ただちに当会へ連絡すること。
- 学業成績表 a. 母国における最終校の成績表
 b. 現課程の成績表（入手不可能な場合は、その理由を明記） } 両方を提出すること
 } コピー可。
- 指導教官の推薦状（所定用紙を使用し、厳封のこと）
- 6カ月以内の健康診断書。ただし、レントゲン所見は1年以内のものまで可。（所定用紙使用のこと。）
- 写真2枚（6カ月以内に撮影のもの。上半身正面像5cm×3.5cm。カラー写真を使用しないこと。）1枚は所定の場所に貼付けし、あとの1枚は裏に撮影年月日と氏名を記入の上、写真に傷つかないように同封する。
- 履修状況
日本の大学での履修状況と卒業後の進路について800字以内、日本語で黒インクまたは黒のボールペンを使用した自筆のものに限る。（ワープロは不可）
所定原稿用紙を使用のこと。
- 応募者の現住所を宛名書きした定型封筒（23.5cm×12cm）3枚。（切手不要。これは面接通知と可否通知に使用する。住所に移動があった場合には、新住所を当会宛すみやかに通知すること。）
- 前記1～11に記載した申込書および添付書類を一括して、応募者本人が10月7日（消印可）までに、当会に持参するか、または書留郵便で送付すること。
締切り以後の書類の追加または変更を認めない。

IV 選考

1. 書類選考 第一次選考として書類上の審査を行う。(提出書類に不足があったり、未記入箇所のあるときおよび書類の記入について奨学会の要請を満たさないときは、減点あるいは選考の対象から除外される。)
なお、応募者多数の場合は、日本語・日本語の理解力についての筆記試験を行うことがある。(12月初旬の予定)
2. 面接 第一次選考の合格者に対し面接を行う。原則として、1998年2月1日～11日の間に実施する。
その期日・場所は各地区で指定し、1月中旬までに各応募者に通知する。
3. 受験場所 原則として在籍大学または進学希望大学の校舎所在地で選考を行う。
4. 選考の結果 1) 合格内定通知および不合格通知は2月下旬に応募者各人に書面で通知する。
合格が内定した者は、当奨学金の受給希望の有無につき、当会に回答する。
(3月15日消印まで有効)
2) 正式合格発表は4月6日までに応募者各人に書面で通知する。可否に関する問い合わせには、一切答えない。

V 申込受付の場所と期間

応募者は、Ⅲの提出書類を全部とりそろえ、申込書受付期間内に、下記に持参するか、または書留郵便にて送付のこと。

1. 申込書受付場所：〒105 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館8階
財団法人 ロータリー米山記念奨学会
2. 申込書受付期間：1997年10月1日～同10月7日
(郵送の場合は、10月7日の消印のある分まで受理する。その後はいかなる書類も受付けない。)
事務所執務時間：月曜日～金曜日 9:00～16:00
3. 募集についての問い合わせ：電話(03)3435-1828
ロータリー米山記念奨学会事務所
月曜日～金曜日 9:00～16:00

提出書類は、一切返却しない。

VI 採用後の注意事項

1. 米山奨学生として採用後、以下に該当する場合、および奨学生として相応しくない行為があった場合はその月をもって奨学金の支給を打切る。
 - a. 奨学期間中に、応募資格を満たさなくなったとき。
 - b. 年間(4月から翌年3月まで)通算して2カ月以上居住地を離れ、帰省または他国に旅行するとき。ただし、研究のため必要ありと指導教官が許可した場合は、特例として最長3カ月までを認める。
 - c. 退学または在籍課程および学業目的を変更したとき。
 - d. 当会の定める規定に反したとき、ならびに規定に反した条件が発見されたとき。
2. 当会の奨学金は、毎月世話ロータリー・クラブの例会において手交される。本人の銀行口座への振込みは行わない。

財団法人ロータリー米山記念奨学会
1998 (平成10) 年度 地区米山奨学生 (DisY) 募集要項

I 応募資格

1. 国籍とビザ

日本以外の国籍を有し、勉強または研究のため在留資格「**留学**: College Student」で在日している者および来日予定の者。

日本の大学に在学中で「**難民**: Refugee」の認定を法務大臣から受けた者。

(イ) DisY-A: ロータリー・クラブの所在する国または地域からの留学生。

(ロ) DisY-B: 以前にロータリー・クラブが存在していた国からの留学生。

注: 以前にロータリー・クラブが存在していた国

アフガニスタン・イスラム国、アラブ首長国連邦、中華人民共和国、キューバ共和国、イラク共和国、イラン・イスラム共和国、ラオス人民民主共和国、リベリア共和国、社会主義人民リビア・アラブ国、ミャンマー連邦 (ビルマ)、シリア・アラブ共和国、ソマリア民主共和国、旧ソ連の一部 (アゼルバイジャン共和国、ウズベキスタン共和国、キルギス共和国、グルジア共和国、タジキスタン共和国、トルクメニスタン、モルドバ共和国)、ベトナム社会主義共和国、イエメン共和国、旧ユーゴスラビア (セルビア、マケドニアを除く)

2. 在日する親・配偶者の所得制限

応募者の親・配偶者が外国籍で在日し収入の伴う在留資格を有し、年間所得が400万円を超える場合、あるいは、配偶者の奨学金が年額400万円を超える場合は、応募資格がない。収入の伴う在留資格を有し、年間所得が400万円以下の場合、該当者の納税証明書 (1996年度分・市区町村の役所発行) あるいは、源泉徴収票 (1996年度分・雇用主発行) を提出すること。なお、親・配偶者が日本国籍を有し、在日する場合も同様。

未提出の場合、無資格とする。

<在留資格について>

収入の伴うもの : 外交、公用、教授、技術、投資経営、企業内転勤、国際業務、医療、教育、芸術など

収入の伴わないもの : 留学、文化活動、短期滞在、就学、家族滞在など

3. 母国における教育

母国で高等学校卒業以上の学歴を有する者。

4. 在籍学校・大学

(イ) DisY-A: 1998年4月から日本の国内に所在する短期大学・高等専門学校ならびに同専攻科・専修学校専門課程に在籍する者。

(ロ) DisY-B: 1998年4月から日本の国内に所在する大学院:

入学時から起算して修士課程1年目、2年目

〃 博士課程2年目、3年目

〃 医・歯・獣医学系博士課程3年目、4年目

(Ⅱ. 1. (ロ) 奨学金の欄を参照)

} 在籍者

修士課程進学予定者は、申込書に記入した大学院修士課程・研究科・専攻に合格を条件とする。

5. 性格・能力・健康

優秀な学力を持ち、心身ともに留学生活に耐えうる健全な者。

6. 博士号

いずれの国においても、博士号を取得している者には応募資格はない。

7. 年 齢

1958年4月1日以降に生れた者（40歳未満の者）。

8. 他の機関の奨学金との併給

当会からの奨学金は、他の機関からの奨学金と同時に受けることはできない。他の機関にも奨学金を申込み、結果として当会および他の機関からの奨学金の支給の内定（合格）を受けた場合は、支給の決定を一つの奨学金に絞り、どちらを受けるかを当会に通知する。この指示に従わず、他の機関からの奨学金と同時に当会の奨学金を受けた場合は、支給された奨学金（重複期間）の金額を返済しなければならない。

ただし、地方自治体による学習奨励金（在住の留学生全員が受給の対象）、および学術上の貢献（論文）に対する一時的な褒賞金は奨学金とはみなさない。

9. 本奨学金の非重複性

かつて米山奨学金を受領したことのある者は、応募資格がない。

Ⅱ 奨学金と補助金

1. 奨学金

(イ) DisY-A (District Yoneyama Scholarship A)

対象者 : ロータリー・クラブの所在する国、または地域から来日し、1998年4月から日本の短期大学・高等専門学校ならびに同専攻科・専修学校専門課程に在籍する者。

募集範囲 : 全国適用

奨学金 : 月額12万円

奨学期間 : 2年を限度とする。

(ロ) DisY-B (District Yoneyama Scholarship B)

対象者 : 以前にロータリー・クラブが存在していた国から来日し、1998年4月から大学院修士課程1年目、2年目に在籍する者、および大学院博士課程2年目、3年目に在籍する者と医・歯・獣医学系博士課程3年目、4年目に在籍する者。（この学年は入学時から起算した学年である）

応募資格のない人 :

- ・ 1998年4月から博士課程1年目
- 〃 医・歯・獣医学系博士課程1年目、2年目 } 在籍者
- （この学年は入学時から起算した学年である）
- ・ 入学時から起算して、博士課程の4年目に入る者、医・歯・獣医学系博士課程の5年目に入る者。

募集範囲 : 全国適用。ただし、地区により大学を指定する。

奨学金 : 月額15万円

奨学期間: 2年を限度とし課程終了までの2年間は継続支給する。
ただし修士課程2年目、博士課程3年目、医・歯・獣医学系博士課程4年目
で採用された者に対する支給は1年間。

2. 補助金

- (A) 学会・研修・見学のための研修旅行補助費: 年5万円
- (B) 医療費補助 (当会の規定による)

Ⅲ 応募に必要な提出書類と手続

1. 申込書: ピンク色 (所定用紙に完全に本人が自筆で記入したもの)
2. 居住地の市区町村役所で発行される、本人および在日する親・配偶者の外国人登録済証明書
本人 (国籍、在留資格: 留学、および在留期間明記の証明書、在留期間が1997年9月30
日以前に切れているものは無効) 在日する親・配偶者 (国籍、在留資格明記の証明書)
3. 親・配偶者が在日し、その年間所得が400万円以下であるものは、年間所得を証明する以下
のいずれかを提出する。親・配偶者が日本国籍で在日する場合も同様。
提出書類: 納税証明書 (1996年度分・市区町村の役所発行) あるいは
源泉徴収票 (1996年度分・雇用主発行)
未提出の場合、無資格とする。
4. 在学証明書 (入学年月日記入のもの)
5. 短期大学・高等専門学校ならびに同専攻科・専修学校専門課程・修士課程進学予定の者は、該
当の課程合格通知の写し (申込みの時点で入手不可能な場合は、その理由を書きそえ、入手次
第、遅くとも**3月25日までに書留**で送付すること。)
申込書に本人が記入した該当の課程 (DisY-Aは学科・専攻、DisY-Bは修士課程・研究科・専攻)
に不合格になった者は、ただちに当会へ連絡すること。
6. 学業成績表

a. 母国における最終校の成績表	}	両方を提出すること。 コピー可。
b. 現課程の成績表 (入手不可能な場合は、その理由を明記)		
7. 指導教官の推薦状 (所定用紙を使用し、厳封のこと)
8. 6カ月以内の健康診断書。ただし、レントゲン所見は1年以内のものまで可。(所定用紙使用
のこと。)
9. 写真2枚 (6カ月以内に撮影のもの。上半身正面像5cm×3.5cm。カラー写真を使用しないこ
と。) 1枚は所定の場所に貼付し、あとの1枚は裏に撮影年月日と氏名を記入の上、写真に傷
がつかないように同封する。
10. 研究計画書または研究状況報告書 (ただし、DisY-A奨学金応募者は不要)
大学院での研究または現在までの研究状況について800字以内、日本語で黒インクまたは黒
のボールペンを使用した自筆のものに限る。(ワープロは不可)
所定原稿用紙を使用のこと。
11. 応募者の現住所を宛名書きした定型封筒 (23.5cm×12cm) 3枚。(切手不要。これは面接通知
と合否通知に使用する。住所に移動があった場合には、新住所を当会宛すみやかに通知するこ
と)
12. 前記1～11に記載した申込書および添付書類を一括して、応募者本人が10月7日 (消印可)
までに、当会に持参するか、または**書留郵便**で送付すること。締切り以後の書類の追加または
変更を認めない。

Ⅳ 選考

1. 書類選考 第一次選考として書類上の審査を行う。(提出書類に不足があったり、未記入箇所のあるときおよび書類の記入について奨学会の要請を満たさないときは、減点あるいは選考の対象から除外される。)
なお、応募者多数の場合は、日本語・日本文の理解力についての筆記試験を行うことがある。(12月初旬の予定)
2. 面接 第一次選考の合格者に対し面接を行う。原則として、1998年2月1日～11日の間に実施する。
その期日・場所は各地区で指定し、1月中旬までに各応募者に通知する。
3. 受験場所 在籍学校または進学希望学校の校舎所在地で選考を行う。
4. 選考の結果
 - 1) 合格内定通知および不合格通知は2月下旬に応募者各人に書面で通知する。合格が内定した者は、当奨学金の受給希望の有無につき、当会に回答する。(3月15日消印まで有効)
 - 2) 正式合格発表は4月6日までに応募者各人に書面で通知する。可否に関する問い合わせには、一切答えない。

Ⅴ 申込受付の場所と期間

応募者は、Ⅲの提出書類を全部とりそろえ、申込書受付期間内に、下記に持参するか、または書留郵便にて送付のこと。

1. 申込書受付場所：〒105 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館8階
財団法人 ロータリー米山記念奨学会
2. 申込書受付期間：1997年10月1日～同10月7日
(郵送の場合は、10月7日の消印のある分まで受理する。その後はいかなる書類も受付けない。)
事務所執務時間：月曜日～金曜日 9:00～16:00
3. 募集についての問い合わせ：電話(03)3435-1828
ロータリー米山記念奨学会事務所
月曜日～金曜日 9:00～16:00

提出書類は、一切返却しない。

Ⅵ 採用後の注意事項

1. 米山奨学生として採用後、以下に該当する場合、および奨学生として相応しくない行為があった場合はその月をもって奨学金の支給を打切る。
 - a. 奨学期間中に、応募資格を満たさなくなったとき。
 - b. 年間(4月から翌年3月まで)通算して2カ月以上居住地を離れ、帰省または他国に旅行するとき。ただし、研究のため必要ありと指導教官が許可した場合は、特例として最長3カ月までを認める。
 - c. 退学または在籍課程および学業目的を変更したとき。
 - d. 当会の定める規定に反したとき、ならびに規定に反した条件が発見されたとき。
2. 当会の奨学金は、毎月世話ロータリー・クラブの例会において手交される。本人の銀行口座への振込みは行わない。

財団法人ロータリー米山記念奨学会

東京都港区芝公園2丁目6番3号 abc会館ビル

電話 (03)3434-8681

Fax (03)3578-8281